R2 (2020) 第1回 子ども子育て会議

withコロナと 今後の子育て支援策の検討



(案)

- 1. これまでの検討プロセス
- | 2.協議事項⇔方向性の確認
- 3 今後のスケジュール確認



- 1. 報告
 - ①これまでの検討プロセス
- 2. 協議事項→方向性の確認
 - ①見える化
 - ②長期的・総合的な視点
 - ③新庁舎の遊び場
- 3. 今後のスケジュール確認

☑ 1. これまでの検討プロセス 1. これまでの検討プロセス 2. 協議事項⇔方向性の確認 3. 今後のスケジュール確認 8月 4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ①長期的/総合的 人口ビジョン→子育て支援 少子化要因/方向性検討 まとめ→HP掲載 子育て一覧作成 ②見える化 ③経済的負担軽減 シミュレーション 各課予算精査 市単費 総合計画(総合戦略) 新年度予算に計上 過去5か年分析 地方創生交付金 今後10年ビジョン策定 (総合戦略) エントリー スマートシティ戦略 スマートシティ戦略室 実装(実証)とリンク 業務プロセス改革 4室内の遊び場 新庁舎建設(遊び場) 図書館・保健Cの利活用検討 子ども子育て 11/ 5/13 6/24 7/15 8/21 10/14 2/ 実務者会議 (課長/係長) 意見 コサ対応 意見 総合的 総合的 課題共有 反映 反映 見える化 見える化 見える化 修正 修正 一覧 子ども子育て 10/19 3/ 連携会議 (庁議メンバー) 中間報告 経過協議 課題共有 今ここ 方向性確認 子ども子育て 9/30 3/ 1/ 会議 (有識者会議) 総合的/経済的 総合的/経済的 見える化/遊び場 見える化/遊び場 意見交換 意見交換

☑ 1. これまでの検討プロセス

図 2. 協議事項⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認



1. 子ども子育て計画策定のための保護者ニーズ調査2018 結果

現状、子育て環境に40%が不満足と回答している。

子どもの遊び場不足

- 重点的に取り組むべき子育て支援環境として、 「室内の子どもの遊び場」が最も多い。
- 冬が長く、観光客の多い富良野市では、安心して子どもが遊べる場所が不足している。

地域医療(産婦人科・小児科)の充実

- 重点的に取り組むべき子育て支援環境として「安心して妊娠・ 出産ができる医療体制の整備」が2番目に多い。
- 緊急時にも安心して利用できる医療機関が求められる。

共働き世帯の増加による教育・保育ニーズの高まり

- 母親の就労が増えている。
- 共働き世帯が増加したことで、幼稚園の預かり保育のニーズが 高まっている。

「孤育て」傾向の高まり

- 子育てに日常的に関わる祖父母の割合が低下し、幼稚園・保育所の関与が強くなっている。
- 緊急時に子どもをみてもらえる人がいないケースも増加している。

地域における保護者同士、専門職とのつながり不足

- 新米ママ交流、乳幼児の健康相談の利用意向が高まっている。
- 地域でのつながりが希薄化する中、子育てへの不安や負担を 感じている保護者が多い。

仕事と子育ての両立

- 短時間勤務制度を「利用した」割合が低下した一方で、 「利用したかったが利用しなかった」の割合が高くなっている。
- 社会全体で子育で・家事と仕事を両立できるような働き方を 推進する必要がある。

放課後子ども教室・学童保育のニーズの高まり

- 共働き世帯の増加、核家族化等により、放課後の子どもの居場所のニーズが高まっている。
- 特に低学年時の子どもの居場所を確保する必要がある。

- ☑ 1. これまでの検討プロセス
- 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 3. 今後のスケジュール確認



市全体(庁内連携)の推進【支援体系】

【基本理念】

【重点施策】

【基本方針と支援体系】

すべての子ども達のためにすべては子ども達のために

室内の遊び場の整備

- ② 産婦人科医療 小児科医療の充実
- ③ 子育てに伴う 経済的支援の充実

基本方針1

安心して妊娠・出産できる環境づくり

- 母子の健康確保・増進
- 食育の推進

- 産婦人科医療・小児医療の充実
- 相談機能・情報提供機能の強化

基本方針2

乳幼児期における健やかな育ちへの支援

- 幼児期の教育・保育の充実
- 子育て支援の充実

- 発達に遅れや不安のある子どもへの 支援
- 社会的支援を要する子どもへの対応

基本方針3

自立や社会参加に向けた適切な支援の提供

- 子どもの健全育成対策の充実
- 教育環境の充実と子どもの生きる力の 子どもの権利を守るための支援 向上
- 子どもの居場所づくり

- 読書活動の推進
- 思春期保健対策の充実

基本方針4

【目標】

子育てを支える富良野市の環境づくり

- 次代の親の育成
- ワーク・ライフ・バランスの向上
- 地域の教育力の向上
- 子育てに配慮した居住環境の整備

【現状】



子育て環境に40%が不満足 🔷 子育て環境の満足度80%以上へ

Z 1. これまでの検討プロセス

図 2. 協議事項⇔方向性の確認





3. 総合的な支援

基本方針1

安心して妊娠・出産できる環境づくり

- ●母子の健康確保・増進
- ・産後ケアの体制確立・充実
- ・子育て世代包括支援センター(富良野版ネイボラ)の設置に向けた検討・体制の構築
- ●食育の推進
- ・離乳食やアレルギーに関する正しい知識の啓発
- ・広域連合との連携による給食センターのあり方に関する検討
- ●産婦人科医療・小児医療の充実
- ・雇用・移住政策との連携
- ●相談機能・情報提供機能の強化
- ・子育てサロン等の時間延長
- ・新庁舎移転後の子育て支援センターのあり方検討

☑ 1. これまでの検討プロセス

図 2. 協議事項⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認



3. 総合的な支援

基本方針2

乳幼児期における健やかな育ちへの支援

- ●幼児期の教育・保育の充実
- ・へき地保育のあり方検討
- ・企業内保育所の拡大・支援
- ・ファミリーサポートセンターの側面支援
- ・IOT保育システムの導入検討
- ●子育て支援の充実
- ・出産祝い「育児パッケージ」の構築
- ●発達に遅れや不安のある子どもへの支援
- ・5歳児検診におけるWISC-IV知検査への支援検討
- ・通園センターの保健センター移設検討
- ●社会的支援を要する子どもへの対応
- ・子ども家庭総合支援拠点等の設置に向けた検討

☑ 1. これまでの検討プロセス

3 2. 協議事項⇔方向性の確認





3. 総合的な支援

基本方針3

自立や社会参加に向けた適切な支援の提供

- ●子どもの健全育成対策の充実
- ●教育環境の充実と子どもの生きる力の向上
- ●子どもの居場所づくり
- ・多様な子どもの居場所づくりの検討
- ●読書活動の推進
- ・新庁舎移転後の図書館2・3階の利活用
- ●子どもの権利を守るための支援
- ●思春期保健対策の充実

☑ 1. これまでの検討プロセス

☑ 2. 協議事項⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認



3. 総合的な支援

基本方針4

子育でを支える富良野市の環境づくり

- ●次代の親の育成
- ・民生委員等の見守り体制の強化
- ●ワーク・ライフ・バランスの向上
- ・イクボス・イクメン・ワークライフバランスの機運づくり
- ●地域の教育力の向上

- ●子育てに配慮した居住環境の整備
- ・新庁舎内のこどもの遊び場設置
- ・空き店舗活用等による遊び場の設置

- 1. これまでの検討プロセス
- 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 3. 今後のスケジュール確認



4. 「ふらの子育てノンストップ」 切れ目のない子育て支援

2020年 新たな支援 拡充する支援

産婦人科・小児科 医療体制確保 15**007**

ファミサポ 328万

連携モデル校

緑町児童館 の日曜開放

8 ーケーション

1 新築・中古住宅 1000万 リフォーム補助

子育て世代への

図書館の

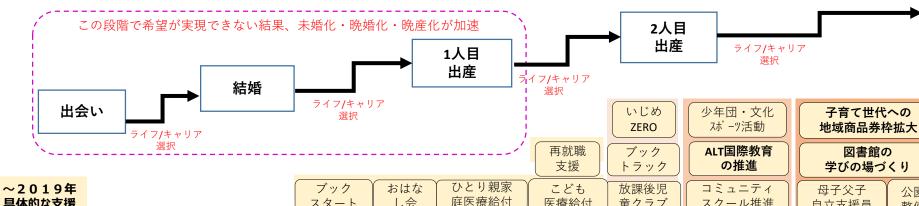
3 育てサロン

時間延長

時間拡大

タブレット学習 1億3000万

9 UIJターン新規 就業支援事業補助金 100万



具体的な支援

産婦人科診 療体制確保

育児休業 啓発

労働時間 短縮促進 妊産婦 健診

子モ情報 任意予防接

種の助成

乳幼児

全戸訪問

スタート

アプリ母 乳幼児 相談・健診

小児医療

体制整備

【乳幼児期】

新米ママ

交流会

し会

定期予防 接種

子育て

サークル

活性化.

乳幼児の通

院・入院無償

保育時 間延長

医療給付

保育の

無償化

放課後こ ども教室

ふるさと

給食

【小学生】

童クラブ

小中高と 乳幼児交流

児童手

当支給

小中の

入院無償

スクール推進

就学 障害児福 助成. 补手当

特別児 童扶養

手当

自立支援員

民生委員

見守り

介護休 業啓発

公園

整備

小中生

スキー

券無償

【結婚·妊娠前】 【出産】

安心して

出産できる

環境支援

男性の

家事参画

奷婦栄養

相談

おむつ券

出産祝金

両立支援 両立できる

働き方

子育て 支援

経済的支援

幼保小

連携

継続的な 地域の見守り参画

【中学生·高校生】

子育てに やさしい まちづくり

【周辺環境整備】

保護者 の不安 不安定な 雇用

不妊治療

への支援

出会い

サポート

室設置

ライフ

キャリア

教育

長時間労働

両立しにくい 職場風土・働き方

待機児童

教育費の負担

子育てに 冷たい社会 居場所 不足

介護 負担

- 1. これまでの検討プロセス
- 」 2. 協議事項⇔方向性の確認
- ☑ 3. 今後のスケジュール確認

2018

平成30年



5.深刻さ増す少子化

1. 子ども人口の推移

0

単位:人

2013

平成25年

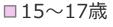
2014

平成26年

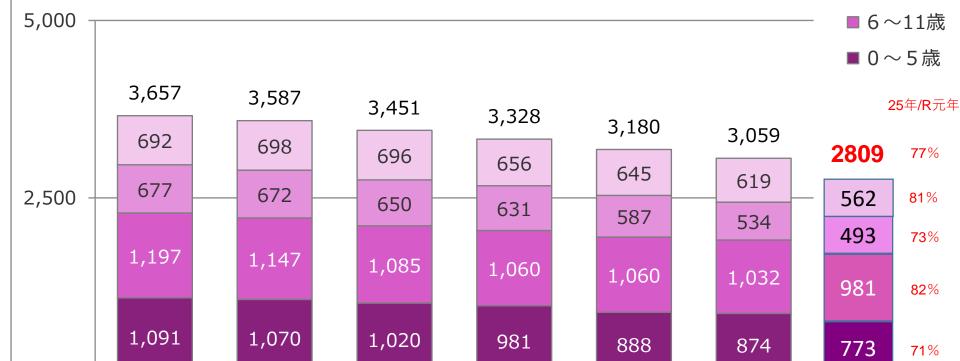
→ 全体的に減少傾向で、幼保小中高と減少が続いていくことが予想

2015

平成27年







2016

平成28年

2017

平成29年

2019

R元年

1. これまでの検討プロセス

☑ 2. 協議事項⇔方向性の確認

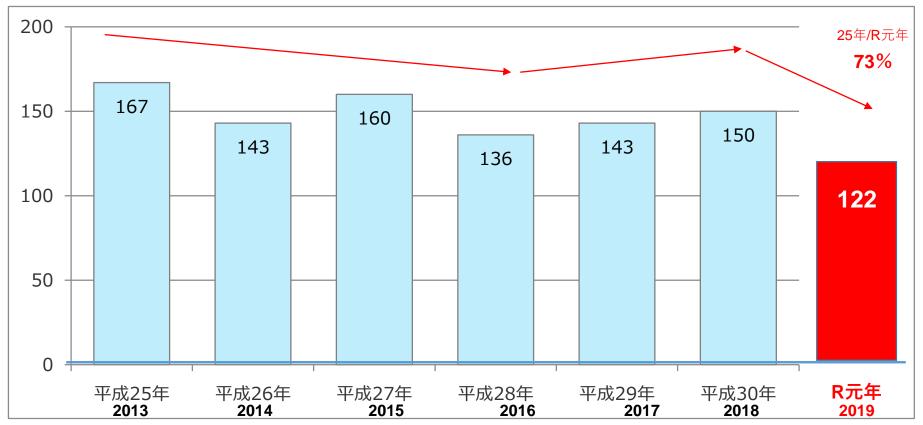
図 3. 今後のスケジュール確認



5. 深刻さ増す少子化

2. 出生数の推移

→ 150人前後で推移しつつ、減少傾向は深刻化



単位:人

☑ 1. これまでの検討プロセス

2. 協議事項⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認



5. 深刻さ増す少子化

3. 世帯数と平均世帯人数

→ 世帯数は11,000世帯前後で推移し、横ばい 人口減少が続いているため、平均世帯人員は減少し、子どもの数も激減 核家族化の流れが続く

			2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 R元年	25年/R元年
世		世帯数	11,050	11,053	10,997	11,010	11,018	10,920	10, 723	99%
		人口	23,609	23,345	22,975	22,656	22,355	21,952	21, 230	90%
		うち 子ども 数	3,657	3,587	3,451	3,328	3,180	3,059	2, 809	77 %
		均世帯 人員	2.14	2.11	2.09	2.06	2.03	2.01	1. 98	92%

単位:人

1. これまでの検討プロセス

☑ 2. 協議事項⇔方向性の確認

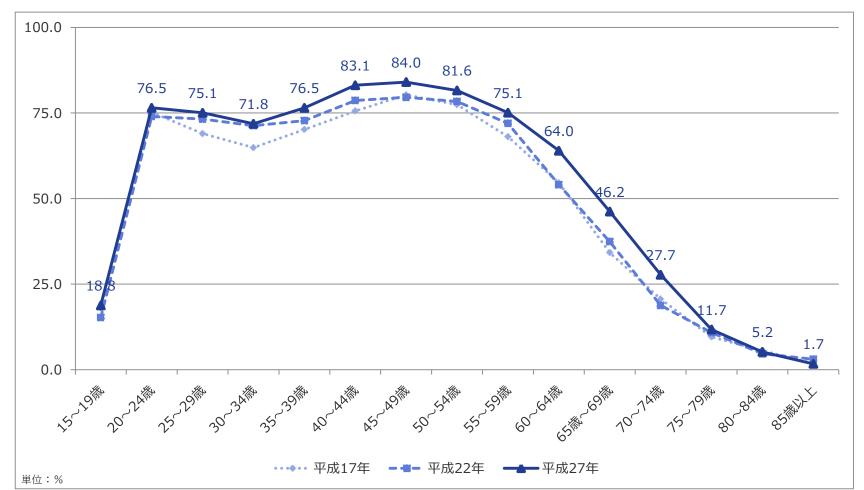
3 う後のスケジュール確認



5. 深刻さ増す少子化

4. 女性労働力の推移

⇒ 特に20~70代にかけて、この10年で上昇 特に30代前半に労働力が低下するM字カーブ現象が生じている



☑ 1. これまでの検討プロセス

2. 協議事項⇔方向性の確認

図 3. 今後のスケジュール確認



5. 深刻さ増す少子化

5. 女性の人口減少(出産期人口)

	H27-31	住基	人口		推 詰	†	, []
年 齢	センサス	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
	変化率	ローデー	9	(4)*(2)	(5)*(2)	(6)*(2)	(7)*(2)	(8)*(2)
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
総数	_	11,571	11,390	11,192	10,997	10,798	10,597	10,403
16	0.986520	106	114	93	100	73	74	74
17	0.888669	109	104	112	92	99	72	73
18	1.079640	94	97	92	100	82	88	64
19	0.900165	119	96	105	99	108	89	95
20	0.918760	100	111	86	95	89	97	80
21	0.977777	95	87	102	79	87	82	89
22	1.007791	97	98	85	100	77	85	80
23	0.927705	93	96	99	86	101	78	86
24	0.938170	77	94	89	92	80	94	72
25	0.965747	75	78	88	83	86	75	88
26	1.004173	70	70	75	85	80	83	72
27	0.984855	88	73	70	75	85	80	83
28	0.995795	92	81	72	69	74	84	79
29	1.028408	70	91	81	72	69	74	84
30	1.016742	100	80	94	83	74	71	76
31	0.984129	99	103	81	96	84	75	72
32	0.981916	87	109	101	80	94	83	74
33	0.994653	110	82	107	99	79	92	81
34	1.006668	96	104	82	106	98	79	92
35	0.979678	128	99	105	83	107	99	80
36	0.998503	119	131	97	103	81	105	97
37	0.964807	122	117	131	97	103	81	105
38	0.982305	134	117	113	126	94	99	78
39	1.008498	137	136	115	111	124	92	97
40	0.983085	137	133	137	116	112	125	93
41	1.000613	125	133	131	135	114	110	123
42	0.994947	155	126	133	131	135	114	110
43	0.980439	142	156	125	132	130	134	113
44	0.975753	164	141	153	123	129	127	131
45	0.996751	154	158	138	149	120	126	124
46	0.980252	141	156	157	138	149	120	126
47	0.990241	135	143	153	154	135	146	118
48	1.010586	154	136	142	152 144	152	134	145
49 50	1.002177 0.997275	139 179	154 137	137 154	137	154 144	1 <u>54</u> 154	135 154

→ 20~45歳の女性人口は、414人減少予想 2,693人 (2018/H31) →2,279人 (2025/R6)

F	₹元 -	R6 =	
16歳~20歳	522	386	-136
21歳~25歳	453	415	-38
26歳~30歳	395	394	-1
31歳~35歳	497	399	-98
36歳~40歳	634	470	-164
41歳~45歳	714	601	-113

- ・30~45歳女性の絶対数が減少するため出生数も右肩上がりには上がっていかないことが予想
- ・26歳~30歳代の減少幅が少ない (元々世代として少ない)
- →短期的には30~45歳代に 移住・Iターン・雇用改善・出産後戻 りやすい環境づくりなど、直面する経 済的支援を中心に
- ➡<mark>長期的には16歳~30歳代</mark>が 働きやすい・育てやすい・Uターン 妊娠の不安要素である医療体制の充実 を整える

1. これまでの検討プロセス ①深刻さ増す少子化 1. これまでの検討プロセス 2. 協議事項⇔方向性の確認 今後のスケジュール確認 6. 人口減少による「負の連鎖」 婚姻減 魅力・安定した職不足 郷土愛の低下 教育格差 都会の魅力 地域外の流出 グローバル経済 経済不安 孤育て 市外への進学 貧困層の増 非正規雇用の増加 上がらない賃金 学習意欲の低下 コミュニティの弱体化 結婚機会 核家族化 圧力の減 人材・後継者不足 地域活動 待機児童 学習機会の限定 交流機会減 DV・虐待の増 共働きの増 出生数減 女性の社会進出 地場産業の衰退 地域内消費の減 学校の統廃合 = 人口減少 若者の流出増 空き地・空き家 エネルギー消費 高齢者比率増 晩婚・晩産 廃棄物の増 耕作放棄地の増 不妊・未婚 公共交通の減 温室効果ガスの増 森・水 社会保障費の増 環境の悪化 買い物 医療介護 難民の増 人材不足 市の財政 生物多様性の損出 悪化 健康状態の悪化 風水害・猛暑 異常気象 気候変動 ◆ 出産育児 孤独死の増 環境の悪化 医療介護

環境悪化

自然災害の増

16

子育て世代の不安+withコロナ

これまでの検討プロセス 事項⇔方向性の確認

発達障害

今後のスケジュール確認

公共交通の減

買い物難民

プライバシ

- 意識

の高まり

ークライフバランス

教育格差

都

部

晚未 婚婚 化 出会

機会が

地域と

統廃合

新学習指導要領

不登校

8

ユニティの弱体化

健康不安

男性の家事育児

児童虐待

学習機会の限定 生活保護

核家族化

八材育成

待機児童

個別最適化

人口減少

然

地場産業の衰退

魅力・安定した職不足

医療介護人材不足

- ☑ 1. これまでの検討プロセス
 - 1 2. 協議事項⇔方向性の確認
- ☑ 3. 今後のスケジュール確認



7. 新型コロナは、結婚・出産・子育て世代にも多大な影響を与えている

・経済や環境の劇的変化が今後も想定される (新たな不安)

1. 感染拡大の 防止

・地域の命を守る

• 外出自粛要請

- ・病床の確保
- ・検査体制の確保
- 発熱外来体制
- •遠隔相談体制
- ・感染状況の把握 と市民への共有

2. 雇用の維持と 事業の継続

•暮らしを支え、守り切る

コロナ関連:市独自助成

- ·給食費助成
- •上下水道助成
- ・プレミアム付き 飲食クーポン
- •中小企業振興資金
- •経営資金臨時交付金
- *家賃助成

3. 経済活動の回復・地域経済を立て直す

- ・感染防止対策の徹底強化
- 遠隔医療体制の確立
- ・コロナ予防接種への支援
- ・子どもの居場所確保
- ・オンライン学習の導入
- ・助成制度は活用されているか・修正
- ・各種窓口・申請支援の窓口の ワンストップ・ノンストップ
- ・農業のスマート化・地元産品の 販路の多様化支援
- ・メイドインフラノ新規開発 ネット販売支援
- ・地域の配送網・テイクアウトの強化
- 休職中の活躍の場
- ・地域飲食店前払いチケット販売支援
- ・新たな地域(観光)の魅力発信
- ・地元起業・デザイナー・芸術家活用による発信支援
- •雇用創出•研修実施支援
- ・個別事業者への継続支援

4. 強靭な経済構造の構築

・感染症に強い地域経済を

・<u>感染症対応の</u> スマートシティ戦略

- ・新庁舎の感染防止戦略
- ・オンライン診療の実施支援
- ・診療予約・呼出システムの 導入支援
- オンライン教育の実践支援
- ・働き方改革支援
- テレワークの徹底
- 地域の起業家支援
- ・事業継承・再編の加速対応
- ・観光デジタルプロモーション

緊急時対応段階

継続·回復段階



1 1. これまでの検討プロセス

☑ 2.協議事項⇔方向性の確認 🗸

☑ 3. 今後のスケジュール確認



8. With新型コロナウィルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルス感染症の流行は、結婚、妊娠・出産、子育て世代にも多大な影響を与えており、 安心して子供を生み育てられる環境を整備することの重要性を改めて浮き彫りにしたと言える
- ・こうした状況に対応するため、非常時の対応として、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」「新北海道スタイル」などに基づき、今後も事態の推移を見極め、必要に応じて柔軟に対応する必要がある
- 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備
- 子育て世帯への臨時特別給付金の支給
- ・好産婦に対する感染対策の徹底や妊娠中の女性労働者に配慮した休みやすい環境整備
- 子どもの見守り体制の強化
- 電話やオンラインも活用した妊産婦や乳幼児に対する相談支援や保健指導
- ・テレワークの強力な推進 等の新たな生活スタイルに対応した環境を整える必要がある
- ・また平常時と併せて非常時の対応にも留意しながら、事態の収束後に見込まれる社会経済や生活の変容も見通しつつ、テレワークを始めとする多様で柔軟な働き方の推進、地域における子育て支援の充実、男性の家事・育児参画の促進など第6次総合計画の策定や新庁舎建設と並行して総合的に取り組んでいく必要性がある

1. これまでの検討プロセス



9. これまでのWithコロナへの対応

- 1、コロナ禍で国としての緊急対策などの同行を見据えながら 富良野市として前倒しできるものは補正予算で対応中
 - ・給食費4ヶ月分の補助
 - ・児童手当てプラス1万円
 - ・ひとり親の児童手当て5万円
 - ・農産物配布食育事業
- 2. また、コロナ禍においては、医療体制の確保、経済的支援が最優先課題 と考え、秋冬へのインフルエンザ予防にむけ9月の補正予算に 「インフルエンザの任意予防接種補助」も検討中の施策を前倒しして、 子育て支援としてニーズの高い医療体制確保や経済的負担軽減を考慮して 実施
- 3. また、10月の補正予算にも「臨時給付金の基準日以降に生まれた新生児」 に対して、臨時交付金を富良野市独自策として臨時議会に提案(予定)

- 1. これまでの検討プロセス
- ☑ 2. 協議事具⇔万同性の確認
 - 3. 今後のスケジュール確認



2. 協議事項→方向性の確認

- 1見える化
- ②長期的・総合的な視点
- ③新庁舎の遊び場

2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認

☑ 1. これまでの検討プロセス

☑ 2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認



1 見える化



2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認

☑ 1. これまでの検討プロセス

☑ 2.検討内容/中間報告⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認



①子育て支援の「見える化」

- 1、ライフステージごとに再整理し、10月1日発行の 子育てガイドブックを改訂
- 2、富良野市独自の事業、近々2ヶ年の新規事業、過去2ヶ年で改善 した事業をピックアップし、母子もやホームページにアップ (準備中)
- 3、「届け方」についても検討中で、広報やホームページだけでなく LINEなどのSNSを活用した双方向の情報発信について スマートシティ戦略室と連携して戦略的な情報発信のあり方に ついて検討中
- 4、富良野市で作成している「ジョブスタイル」「リビングフラノ」 のホームページにも子育て支援一覧を今後アップして連携を 図っていく予定で協議中

ふらの

子育て支援 INDEX



ふらの子育て支援 INDEX

2020年秋冬版



支援 ひとり親 支援

P3~4

P4

母子•父子 自立支援員 児童扶養手

家庭医 療費の 助成

教室

特別児童

扶養手当

ひとり親 家庭日常 生活支援

ンター活用

障がい児

福祉手当

母子父子 寡婦福祉 資金貸付

サービス

タクシー料

金の助成

母子家庭 高等職業 訓練促進 給付金

教育

日中-

時支援

高等学校 卒業程度 認定試験 合格支援

い手帳

費助成

特定疾患患

者通院交通

母子家庭自 立支援教育 訓練給付

保健福祉手帳

医療費

自立支援

ひとり親 家庭等医 療助成

ひとり親 臨時特 別給付 金

25

2020年秋冬版

支援策 結婚 市民 出会いサポート室に登録する 出会いの場の提供を設けています 協働 妊娠 保健 特定不妊治療費の助成をうける 医療 不育症治療費の助成をうける 母子健康手帳をもらう 医師の診断を受け確定したら、母子健康手帳の交付を行っています 奸産婦健康相談をうける 母子健康手帳の交付と妊娠中の食事や注意事項についてお話しています。 子育てアプリ「母子モ」登録

妊産婦健康診断受診票をもらう

助産施設を利用する

出生届を出す

をもらう

おむつ券をもらう

おむつ用ごみ袋をもらう

出産祝い金をもらう

(多子世帯分)

児童手当をうける

こども 赤ちゃんの駅を利用する

こども 家庭児童相談室を利用する

を活用する

(無料)

記念写真Xフォトフレーム

どさんこ・子育て特典制度

(定期) 予防接種をうける

(任意) 予防接種費用の

助成をうける(一部助成)

出産

出産

相談

保健

0歳

保健 医療

市民

保健

医療

市民

未来 支援

C

未来

保健

医療

不育症の検査・治療費を助成しています。(1回10万円まで)

体外受精・顕微授精・男性不妊治療の助成をしています(1回15万円まで)

できます

月=36.000円分)

所得制限世帯5,000円

す。 (無料)

クチン

祝は開庁日までに) に届けましょう

5万円分はふらの市内共通商品券)

サービスを受けられる制度です

乳児1人につき月5枚の衛生用ごみ袋を12か月分支援します

R混合(麻しん・風しん)・水痘・日本脳炎・B型肝炎(無料)

フォトフレームにいれて贈呈しています(無料)

ふらの子育てアプリ母子モから様々な子育て情報を発信していますので、ぜひ登録しましょう

好産婦健診について、道が定める検査項目について助成します(好産婦健診審査受診票16回分)

経済的な理由等により入院助産を受けることができない場合、助産施設(富良野協会病院)に入所

医師・助産師等が作成した出生証明書がついた出生届を、生まれてから14日以内(14日目が土日

乳児1人につき月3,000円分の紙おむつの購入費の助成を12か月分支援します(3,000円×12か)

22歳以下の子を2人以上養育し、第3子以降の子どもを出産した世帯に10万円を給付します(うち

中学卒業までの児童を養育をしている方に毎月(削除)支給されます。0~3歳15.000円/月、3

歳~小学生校終修了前第1子·2子10,000円/月、第3子以降15,000円/月、中学生10,000円·

子どもと同伴で買い物や施設などを利用する際に、特典カードを提示すると協賛店舗から様々な

家庭児童相談室は、お子さんの健やかな成長のためのあらゆる問題について相談に応じるところで

ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合(百日ぜき・ジフテリア・破傷風・不活性ポリオ)・BCG・M

ロタウィルス1価ワクチン・ロタウィルス5価ワクチン・おたふくかぜワクチン・インフルエンザワ

外出の際に授乳・おむつ交換・手洗いをする場所を気軽に利用できる施設です。(市内25か所)

子どもが1歳になるまでの間に、市が指定する写真撮影業者に子どもの写真を撮影してもらい、

一口説明

2020年秋冬版

区分 保健 0歳

学び

子育

て

0歳

2歳

0歳

5歳

2歳

~5歳 保育

0歳

5歳

こども

未来

市民

相談ください (無料)

びます (無料/要予約)

未就学児の入院医療費や通院医 O歳〜小学校就学前の乳幼児医療費は無償です。所得制限なく無償でうけられます。

一口説明

9月25日現在

療費は無償 小学生~中学生までの

入院医療費は無償

医療

赤ちゃん訪問をうける

乳幼児の訪問をうける

7か月児相談をうける

支援C 子育て支援センターを活用する

ふれあい広場(登録制)

ひよっこサロン

水曜日開放

土曜日開放

子育てサロン

ふれあい合同広場

パパ広場(要予約)

ふらのっこクラブ

保育所を利用する

(保育所・幼稚園)

多子世帯の保育料軽減支援

無料) を利用する(保育所)

(2人目以降の0~2歳保育料

する

新米ママの交流会を利用する

4か月健診・股関節脱臼健診をう

小学生~中学生までの入院医療費と指定訪問看護費は無償です。※通院にかかる医療費は有償

保健 新生児聴覚検査をうける

ける

図書館 ブックスタート

助成します。

赤ちゃんの聴覚に異常がないかを早期に発見するための検査です。検査方法に応じて7,700円まで

して不安を解消してもらっています(無料)

師・栄養士の相談など行っています(無料)

生後7か月のお子さんが対象です (無料)

毎週月曜10時~11時30分まで(無料)

毎週水曜10時~11時30分まで(無料)

毎週火曜・金曜10時~11時30分まで(無料)

月1~2回土曜10時~11時30分まで(無料)

毎週月・火・水・金の13時30分~15時40分まで(無料)

幼児教育・保育の無償化を利用 幼稚園や保育所(園)を利用する3歳~5歳児クラスのお子さんは利用料は無償です。幼稚園は満3

赤ちゃんが生まれたお宅に保健師が伺って、体重測定や育児相談などを行っています。(無料)

お子さんのことで気になること、お困りのことがあって、保健師の家庭訪問をご希望される方はご

お母さんと保健師、栄養士で育児で心配なことを話し合ったり、離乳食の調理実習や試食会を利用

生後4か月のお子さんを対象に身体測定・発達の確認、小児科医師・整形外科医師の診察・保健

身体測定・発達の確認、保健師・栄養士・作業療法士の相談、離乳食の試食、ブックスタートなど

年4回日曜の10時~11時15分まで、スポーツセンターサブアリーナで、パパと子どもが一緒に遊

保育所は、保護者の方が仕事や病気、出産などでお子さんの保育ができない保護者にかわり日中保

育をする場所です。認可保育所として、市立虹いろ保育所、ピッコロガーデン、きらきら保育園富良野。へき地保育所とし

て、市立山部保育所、市立東山保育所、市立あおぞら保育所。また認可外保育所(事業所・個人運営)として、託児所こころ、託

歳(3歳誕生日から)、保育所は3歳児クラス(3歳になった後の最初の4月以降)から無償の対象

2人以上のお子さんがいるご家庭の保育料を軽減するため、一度収めていただいた保育料を補助金

としてお返しして、実質無償化しています。0~2歳のお子さんが対象です※要件があります

児ハウスきっき、託児ハウスドレミ、ふらの西病院保育室、富良野協会病院保育所、おひさま保育園、すまいるふらの

7か月児相談時に絵本をプレゼント。よい本との出会い、親子読書を楽しみましょう(無料)

子育てに対する不安や悩みを解消するための情報交換のできる場所です(無料)

第4木曜の10時~11時15分まで、スポーツセンターサブアリーナで(無料)

第1・3木曜の10時~11時15分まで、スポーツセンターサブアリーナで(無料)

です。保育所の0~2歳児クラスで住民非課税世帯のお子さんは、利用料が無償です

預かり保育も上限ありますが無償です※副食費等は世帯所得により減免対象があります

担当課 支援策

ふらの子育で支援 一覧

19		MJ FILS	17 一見 2020年秋冬版 9月25日現在
区分	担当課	支援策	一口説明
医療 1歳	保健	1歳6か月児健診をうける	身体測定、発達の確認、小児科医師・歯科医師の診察、保健師・栄養士・作業療法士の相談、ブックスタートプラスなどを行っています(無料)
学び			1歳6か月健診時に <mark>絵本をプレゼント</mark> 。絵本とふれあうきっかけづくりの第2弾として、親子読書の習慣化しましょう(無料)
			図書館では、ボランティアと協力しながら、おはなし会を定例、土曜日、えいごのお話会など各種 開催しています(<mark>無料</mark>)
地域 2歳 ~	こども未来	子育て支援短期利用事業 を利用する	お子さんを養育することが一時的に困難になった場合に、児童養護施設「富良野国の子寮」にて、 2歳以上のお子さんを7日以内の養育利用ができます(生活保護世帯は無料・市民税非課税世帯 1,000円/日・その他の世帯2,750円/日)
医療 3歳	保健	3歳児健診をうける	身体計測、発達の確認、尿検査、視力検査、小児科医師、歯科医師の診察、保健師・栄養士・言語 聴覚士の相談がうけられます(無料)
学ぶ 3歳	こども 未来	幼稚園を利用する	幼稚園は子どもが、はじめて集団生活を体験する施設です。たくさんのお友達ができ、 みんなで学ぶ楽しさを通して社会性など、たくさんのことを身につけることができます。
地域		幼児クラブを利用する 遊びのサークルを利用する	各地域で自主的に活動している幼児クラブの支援をしています。 山部幼児クラブ・東山幼児クラブ・あおぞら幼児クラブの3つ 各地域や幼稚園等で自主的に活動している遊びのサークルです
		富良野市ファミリーサポート センターを利用する	子育ての援助を受けたい人と行いたい人が会員組織を作って、子どもの預かりなどの援助がうけられます。3か月~小学6年生まで7時~19時まで./30分300円~
		ヘルパー (来てもらう) 託児 (民間に預ける)	育児ヘルパー派遣白菊会・NPO法人こどもサポートふらの 託児ハウスきっき・託児ハウスこころ・託児ハウスドレミ
		民生委員児童委員・主任児童委員 に相談する	児童福祉を専門に扱う主任児童員が3名配置されていますので、困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください(無料)
ひと	こども未来	母子・父子自立支援員に相談する (ひとり親)	母子寡婦家庭、父子家庭等のひとり親家庭の日常生活全般にかかる悩みなどの相談業務を行う支援 員を設置しています(無料)
り 親		<mark>児童扶養手当</mark> をうける (ひとり親)	父または母親がいない家庭で高校卒業までの子どもを養育している方に毎月支給されます。第1子43,160円/第2子10,190円加算/第3子6,110円加算
		母子・父子・寡婦福祉資金貸付制 度を活用する (ひとり親)	経済的な自立や児童の就学などで資金の貸付が必要になった方に対し道で貸付制度を設けています。 (無利子)事業開始資金・事業継続資金・修学資金・技能習得資金・修業資金・就職支度資金・医療介護資金・生活資金・就学支度資金(1%)住宅資金・転宅資金・結婚資金
		ひとり親家庭等日常生活支援 を活用する(ひとり親)	日常生活に支障が生じている場合に有料で、家庭生活支援員を派遣しています(生活保護世帯は無料)
		母子家庭等自立支援教育訓練給付金を活用する	市が指定した雇用保険制度の教育訓練給付の指定講座(介護福祉士、医療事務等)を受講したひとり親家庭の親に対し、講座修了後に受講料の一部を支給します。(上限20万円)
		(ひとり親)	28

2020年秋冬版

9日25日現在

			9月25日現住
区分	担当課	支援策	一口説明
ひとり親	こども 未来	母子家庭等高等職業訓練促進給 付金を活用する(ひとり親) ひとり親家庭高等学校卒業程度 認定試験合格支援を活用する (ひとり親)	就業に結びつきやすい資格の取得を受講している場合、生活の負担の軽減を図るため、高等職業訓練促進給付金をうけられます。(上限3年間)課税世帯70,500円/非課税世帯100,000円~高卒認定試験(通信制講座を含む)の合格を目指し、民間事業者などが実施する受講費用の一部がうけられます。(上限10万円)さらに受講修了日から2年以内に高卒認定試験の全科目に合格した場合、(上限15万円)を支給します
	市民	ひとり親家庭等医療費の助成を うける(ひとり親)	母(父)については、入院医療費及び指定訪問看護の療養費、子については通院及び入院などの医療費が非課税世帯は自己負担なし。課税世帯は自己負担1割
療育	通園C	富良野市こども通園センターを 利用する あそびの教室を利用する	体や言葉の発達に心配や遅れのあるお子さん(〜就学前)に対して、相談や個別的・集団的な療育支援をしています。1回250円住民非課税世帯また3歳児〜就学前のお子さんは無償) 月2回ほど1歳半から3歳位までの就園前のお子さんで、発達についての不安や心配を感じているお母さんの相談を保育士・作業療法士・言語聴覚士を配置して遊びを通して学ぶ場を提供しています(無料)
	こども 未来	放課後デイサービスを利用する	父母の方々の就労支援や放課後の居場所づくりを提供できる民間施設があります。
	福祉	特別児童扶養手当の支給をうける 障害児福祉手当の支給をうける 日中一時支援を利用する	身体や精神に重度の障がいのある20歳未満の児童の父もしくは母、または父母にかわって養育している方に対し手当を支給します。1級52,500円/月・2級34,970円/月日常生活で常時介護を必要とする重度障がい児に対し手当を支給します(14,880円/月)を援を必要とする児童に対し日中活動の場を提供し、保護者の就労等の支援を行います(自己負担
		<mark>タクシー料金の助成</mark> をうける (身体障がい児)	なし) 重度の身体障がい児が利用するタクシー料金の一部を助成します 交付枚数24枚/年(市街地300円/遠隔地500円~)
		特定疾患患者通院交通費の助成 をうける (小児慢性特定疾患)	小児慢性特定疾病医療受従者証を交付されている児童に対し、市外への通院費用(JR/バス料金等)の一部助成をします($\frac{4}{1}$ 2、保護者 $\frac{1}{3}$)
		自立支援医療費の助成をうける (育成医療)	児童の身体障がいを軽減するための手術等の医療費の自己負担額を1割に軽減します
			児童の行動及び情緒の障がいやてんかん等による服薬やリハビリ等の医療費の自己負担額を1割に 軽減します 補装具や日常生活用具、重度心身障害者医療費助成制度、公共交通機関運賃割引、税制における優 遇措置、障がい福祉サービス等を活用することができます。
	学校 教育	<mark>就学援助制度</mark> をうける (小学生)	要保護児童等は学用品等の補助をうけられます

08250

			としとして が、 2 1以 9月25日現在
区分	担当課	支援策	一口説明
教育 小学	教育	小学校入学の流れ	いよいよ小学校スタートです。新小学1年生になるまでの流れは次のとおりです。 ・9月下旬~10月上旬 就学時健康診断の通知を送ります。 ・10月中旬~11月下旬 知能検査等(図書館)、内科・歯科検診(保健センター)で実施。 ・1月 入学通知書を送ります。 ・2月 1日体験入学
教育 学校 小学 教育		特別支援教育 ことばの教室を利用する 第3子以降就学助成金をうける (小学生/多子世帯) 遠距離通学費の補助をうける (小学生) 就学援助制度をうける (小学生)	障がいのあるなしに関わらず、児童生徒の自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導、必要な支援を行っています。また、小中学校に特別支援学級を設置しています。 発音が不明瞭、ことばが少ない、やりとりがうまくできない子どもたちに、ことばや全体的な発達を促すために、通級指導教室(通称「ことばの教室」)を扇山小学校に設置しています。 第3子以降の子どもが、市内の小学校第1学年に就学する際に、お子さん1人につき5万円の支給がうけられます 遠距離(片道4km以上)における児童及び、学校統廃合に伴う遠距離通学のお子さんの定期券・回数券代の50~100%補助しています。 世帯収入が一定額以下であるなど、経済的にお困りの世帯を対象に、学用品費、給食費等の就学援助を行っています。
	教育	(学童保育センター) を利用す	小学1年~6年生までの昼間、保護者のいない家庭の小学生を対象に、児童館・児童センターを利用することができます(事前登録制) 1,500円/月(2人目750円・3人目以降無料) 放課後の子どもたちの安全安心な居場所や文化スポーツ活動を楽しむ場として、山部小・樹海小・布礼別小・布部小・鳥沼小の5つの小学で利用できます(無料?)要確認
教育 地域	市民協働	児童郎・児童センダーを利用する る 全道・全国大会参加費用助成を	〇歳~18歳未満のお子さんを対象に、異年齢の集団での遊びを通じて子どもたちの交流を深める場所です。北の峰・緑町・麻町・東部・桂木の5つの施設を無料で利用できます。月~金13時~17時/学校の長期休み・土曜10時~17時)市内の小・中・高校の個人や団体が、全道・全国・国際大会・北海道選抜大会などに参加する大会遠征費を支援します(全道大会3/10以内・全国大会など7/10以内)国際化が進む中で、各学校にALTを配置し、グローバル化に対応できる人材育成を行っています
教育中学	教育	就学援助制度(中学生)子どもスキー技術向上支援で無料リフトパスをもらう遠距離通学費の補助(中学生)	世帯収入が一定額以下であるなど、経済的にお困りの世帯を対象に、学用品費、給食費等の就学援助を行っています。 富良野スキー場の小学生リフト無料に加え、中学生にリフト無料搭乗パス8,547円/人を発行し、児童生徒のスキー技術向上を図っています 遠距離(片道6km以上)における生徒及び、学校統廃合に伴う定期券・回数券代の50~100%補助がうけられます
教育	図書館	図書館2階開放(学習スペース)を利用する	図書館の2階を開放し、本とともに学べる学習スペースとして開放しています

2020年秋冬版

			9月25日現在
区分	担当課	支援策	一口説明
教育 高校			遠距離(片道10km以上)のバス通学の高校生の負担軽減を図るため定期券代へ4/10(40%) 補助がうけられます
. 5.25			高等専門学校15,000円以内/月。専修大学および大学生20,000円以内/月また入学時に入学準備金として高校生・高等専門学校生50,000円以内/月。専修学校・大学生100,000円以内/月を貸与
教育		部活動実践補助金	部活動の推進、保護者負担の軽減を図るため、部活動実践校に対し補助を行っています
			学校管理下における児童生徒の災害に対して、災害共済給付(医療費等)の掛け金を負担し、教育 活動の円滑な実施を図っています掛け金935円/人(市負担475円/保護者負担460円)
住宅	都市建築	多世代同居の住宅購入補助を活用して最大100万円をもらう	2020年4月1日以降に取得した住宅の延床面積が79.4㎡以上で、3年以上、取得した住宅で多世代同居する場合に新築で3世代同居は最大100万円補助・2世代は最大80万補助します。中古住宅は3世代で最大50万円・2世代で最大30万の補助があります
		住宅リフォーム助成を活用して 最大50万円をもらう	市内登録業者が工事し、工事費が50万円以上で現在居住または改修後に居住する住宅リフォームに支援します。多世代同居(2世代・3世代)は改修後3年以上同居できることが条件で最大50万円。上記以外の一般リフォームは最大20万で申し込み多数は要抽選
	環境	ペレット・薪ストーブ購入補助 を活用する	未使用品で2次燃焼機能付きで燃焼効率が薪ストーブ60以上、ペレットストーブ70%以上のストーブ購入に <mark>最大15万円</mark> を補助します
		太陽光発電システムの導入を活用する	市内業者が設置工事した未使用品で、電力会社と電力需給契約が締結し、一般社団法人太陽光発電協会に登録されたモジュールで、最大出力1KW以上1OKW未満のシステムに最大15万円補助します
住宅	企画	空き家情報	移住促進サイト「リビングフラノ」で売買物件、賃貸情報を紹介しています
定住	振興	移住相談・ワーケーション推進	移住・定住の相談や定住後のフォローをしています また、今年からワーケーションの推進をしています
就労	商工 観光	UIJターン新規就労助成	東京圏からのUIJターン就業者に対し、移住支援金として <mark>単身60万円、世帯100万円</mark> を支給します。 UIJターン者を採用する企業に対し、住宅手当等の一部を <mark>月額1万円</mark> 限度に補助します
		子育てママ採用情報	しごと情報提供サイト「フラノジョブスタイル」で子育てママの採用に関する情報を掲載していま す
公園	都市 施設	公園の安全対策 通学路等の安全対策	都市公園の遊具やフェンスなどの施設の改築を順次行っています 通学路の歩道整備、維持作業を行っています
道路	都市建設	融雪施設設置補助制度を活用する	住宅や営業を営んでいる敷地内に融雪槽や融雪機またはロードヒーティングを設置する場合、設置 費が50万円未満の場合は設置費の1/5とし、最大10万円補助します
通信	企画振興	光回線の整備	市内全域に光回線を整備しています

結婚を考えたら

口出会いサポート

出会いサポート 0167-39-2311

ロ不妊治療費の相談

保健医療課 0167-39-2200

妊娠がわかったら

保健医療課 0167-39-2200

お子さんが生まれたら

口出生届

市民課

0167-39-2310

□健診

保健医療課

口予防接種

0167-39-2200

口妊産婦健康相談

保健医療課

口母子手帳

0167-39-2200

保育所を利用するには

口相談

こども未来課

口保育の無償化

0167-39-2223

子育ての不安や悩みを相談するには

□相談

子育て支援センター 0167-39-2335

手当・助成をうけるには

口児童手当

ロ子ども医療費助成

市民課

0167-39-2310

口特別児童扶養手当

口障害児扶養手当

福祉課

0167-39-2211

口就学支援の助成

学校教育課 0167-39-2320

口児童館の申し込み

社会教育課 0167-39-2318

ひとり親・療育を相談するには

口ひとり親の相談

こども未来課 0167-39-2223

口障がい・療育相談

こども通園センター 0167 - 22 - 2091

小・中学校の相談するには

口学校教育

学校教育課 0167-39-2320

口社会教育

社会教育課 0167-39-2318

図書館に相談するには

□図書館

図書館

0167-22-3005

住宅・暖房・融雪施設の相談には

口住宅助成

都市建築課 0167-39-2316

ロストーブ・太陽光

環境課

発電

0167-39-2308

□融雪施設整備

都市施設課

0167-39-2313

しごとや移住・空き家の相談には

ロしごと

商工観光課 0167-39-2312

口移住・空き家

个画振興課 0167-39-2304

虐待の相談には

□虐待

こども未来課 0167-39-2223

2. 子育て支援の見える化 方向性

-看護学校

(看護学校)

合同新人研修

- 1. これまでの検討プロセス
- 2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認
- 今後のスケジュール確認

・インターン



1. 世代別×関係人口×デジタル×リアルの最適化で整理



33

2. 子育て支援の見える化 現状と課題

- 2 1. これまでの検討プロセス
- ☑ 2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認
- ☑ 3. 今後のスケジュール確認



2. ライフスタイルの変化に合わせた情報発信の変化を



ふらの子育て支援 **INDEX**

2020年秋冬版



ひとり親 P3~4 支援

支援

P4

自立支援員 児童扶養手

母子•父子

特別児童

扶養手当

ひとり親 家庭医 家庭日常 療費の 生活支援 助成

障がい児

福祉手当

母子父子 寡婦福祉 資金貸付 給付金

タクシー料

金の助成

母子家庭 高等職業 訓練促進

日中-

時支援

高等学校 母子家庭自 卒業程度 立支援教育 認定試験 訓練給付 合格支援

特定疾患患

者通院交通

費助成

ひとり親 療助成

自立支援

医療費

ひとり親 臨時特 家庭等医 別給付 金

35

- 1. これまでの検討プロセス
- ☑ 2. 協議事項⇔方向性の確認
 - 3 今後のスケジュール確認



2. 協議事項→方向性の確認

- 1見える化
- ②長期的・総合的な視点
- ③新庁舎の遊び場

2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認

☑ 1. これまでの検討プロセス

☑ 2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認

🛛 3. 今後のスケジュール確認



②長期的・総合的な支援



☑ 1. これまでの検討プロセス

☑ 2. 検討内容/中間報告⇔方向性の確認

☑ 3. 今後のスケジュール確認

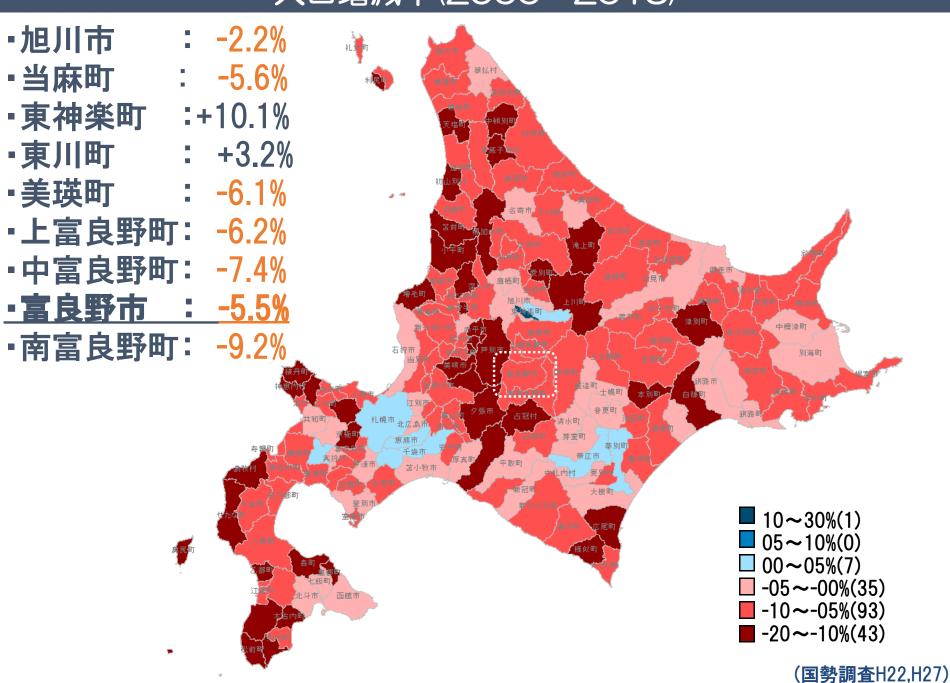


②長期的・総合的な支援

- 1. ライフステージごとに子育て支援の再整理後
- 2. 全国/道内の子育て支援事業の優良事例を調査/検討
- 3. コロナ禍で子育て世代の働き方や影響を加味
- 4. 総合計画・総合戦略の検討とも平行して総合的に検討中 人口減少、少子高齢化対策として社会増/自然増につなげる
- 5. 「現役子育て世代」と「これから子育てする世代」など ターゲット別・ライフステージが上がるタイミング 子育てと仕事が両立しやすい施策など効果が見込まれる施策を中心に
 - →中長期かつ総合的な施策にコロナ禍でのwithコロナ対策を加え、 庁内の子ども子育て事業連携会議内で検討



人口增減率(2000~2015)



(国勢調査H22,H27)

世帯数増減率(2000~2015)

•旭川市 : +0.9%

- 当麻町 : -1.6%

• 東神楽町 :+11.2%

•東川町 : +5.5%

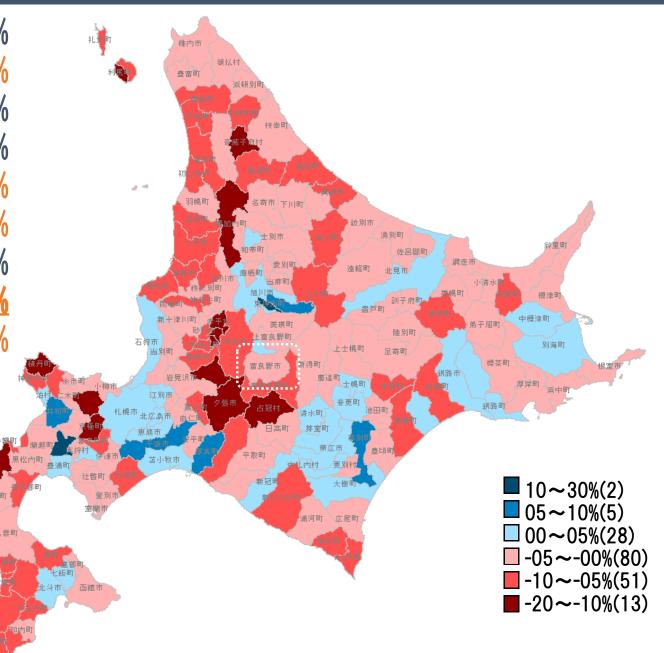
•美瑛町 : -0.3%

•上富良野町: -1.2%

•中富良野町: +0.5%

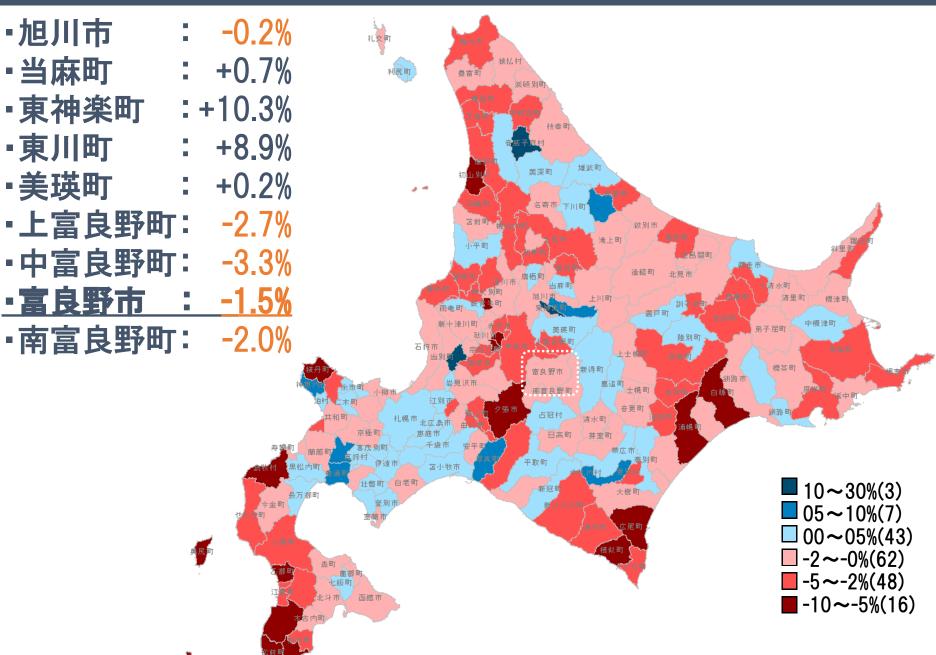
<u>·富良野市 : -1.4%</u>

•南富良野町: -5.6%



(国勢調査H22,H27)

社会移動((転入-転出)/人口)(2000~2015)



•旭川市 : +0.8%

- 当麻町 : +0.9%

• 東神楽町 : +8.9%

• 東川町 : +3.8%

•美瑛町 : -2.2%

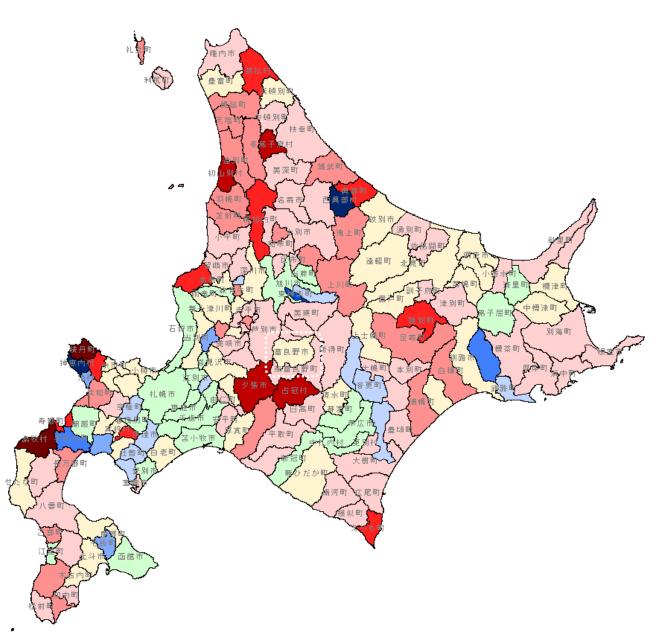
·上富良野町: -3.1%

-中富良野町: -3.2%

<u>-富良野市 : -0.6%</u>

•南富良野町: -2.6%

- 10~15%(2)
- 8~10%(1)
- **□** 6~8%(2)
- 4~6%(4)
- **2~4%(10)**
- □ 0~2%(23)
- -2~0%(38)
- **□** -4~-2%(59)
- **■** -6~-4%(25)
- -8~-6%(9)
- **■** -10~-8%(4)
- -15~-10%(2)

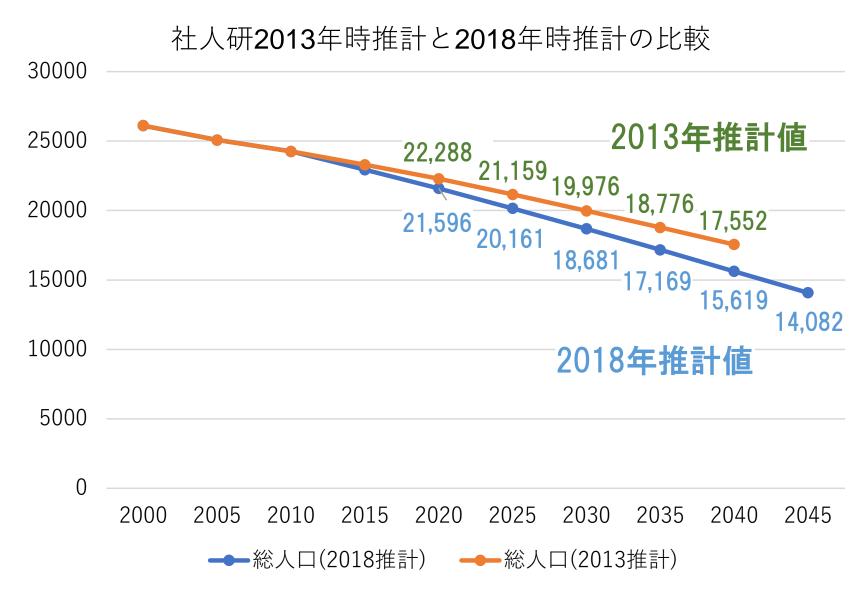


2. 人口推計を読み解く

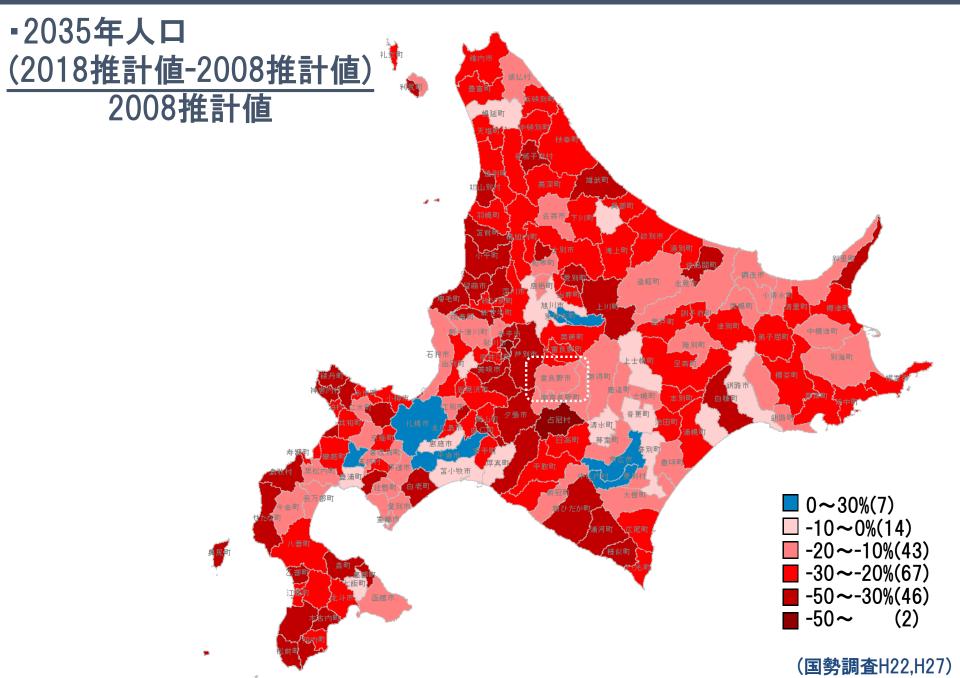
人口推計:このままではこうなる 未来は変えられる

富良野市人口推計(2013推計~2018推計)

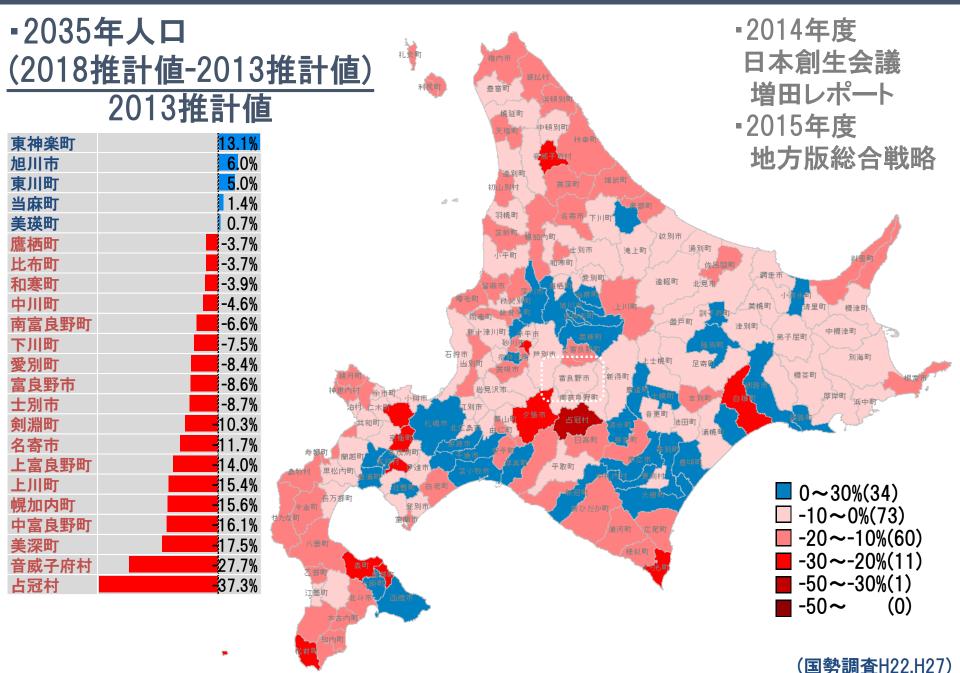
-2013年推計値に比べ2018年推計値が下ぶれ



人口推計2035人口(2008推計~2018推計の変化)



人口推計2035人口(2013推計~2018推計の変化)



人口推計2035人口(2013推計~2018推計の変化)富良野市

-2040年人口(2018推計値-2013推計値) 20歳~49歳で下振れ

男女計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035-	2040年
0~4歳	-1.3%	2 <mark>.</mark> 1%	-3 .0%	-6 1%	-11 .1%	-16 .0%
5~9歳	<mark>-6</mark> .8%	- <mark>2</mark> .1%	1.3%	-3 .7%	-7 .2%	<mark>-11</mark> .8%
10~14歳	1.1%	<mark>-6</mark> .7%	-1.9%	1.3%	<mark>-3</mark> .7%	<mark>-7</mark> .0%
15~19歳	-4 .4%	<mark>-8</mark> 3%	-18%	<mark>-11</mark> _3%	-8.2%	
20~24歳	<mark>-14</mark> .2%	-22 .3%	-25 .5%	-32.2%	-28.1%	-26 .2%
25~29歳	1.0%	<mark>-11</mark> .0%	-19 .8%	<mark>-23</mark> .7%	-30.4%	-26 .7%
30~34歳	- <mark>2</mark> .3%	-1.2%	<mark>-13</mark> .5%	-22 .6%	-26.2%	-33.0%
35~39歳	<mark>-3</mark> .7%	<mark>-6</mark> .0%	<mark>-5</mark> .2%	-17.2%	-26.4%	-29.9%
40~44歳	<mark>-5</mark> .1%	<mark>-8</mark> .1%	<mark>-10</mark> .4%	<mark>-9</mark> .9%	-21 .5%	-30 .3%
45~49歳	-1.0%	<mark>-6</mark> .1%	<mark>-8</mark> .8%	<mark>-11</mark> .0%	<mark>-10</mark> .7%	-22 .4%
50~54歳	0.8%	-0.4%	<mark>-5</mark> .4%	<mark>-7</mark> .8%	-10 .1%	<mark>-10</mark> .0%
55~59歳	-1.5%	- <mark>0</mark> .9%	- <mark>2</mark> .1%	<mark>-7</mark> .0%	-9 .2%	<mark>-11</mark> .6%
60~64歳	- <mark>0</mark> .5%	- <mark>2</mark> .8%	- <mark>2</mark> .1%	-3 .3%	<mark>-8</mark> .3%	<mark>-10</mark> .3%
65~69歳	1.0%	-0.1%	- <mark>2</mark> .3%	-1.6%	-2 .8%	<mark>-7</mark> .9%
70~74歳	1.7%	2 <mark>.</mark> 9%	2 <mark>.</mark> 0%	- 0 .5%	Q.4%	-1.0%
75~79歳	0.1%	2 <mark>.</mark> 3%	3 <mark>.8</mark> %	3 <mark>.</mark> 2%	0.5%	1.2%
80~84歳	1.3%	2 <mark>.</mark> 0%	4 <mark>.3</mark> %	6 <mark>.3</mark> %	5 <mark>.9</mark> %	3 <mark>.0</mark> %
85~89歳	0 .7%	2 <mark>.</mark> 6%	3 <mark>.8</mark> %	6 <mark>.3%</mark>	8 <mark>.7%</mark>	8.9%
90歳~	-1.1%	-1.2%	Q.1%	1.5%	3 <mark>.8</mark> %	6 <mark>.9%</mark>

(社人研)

-48-

人口推計2035人口(2013推計~2018推計の変化)富良野市 -49-

•純移動率 (2018推計值-2013推計值)

子育世代の 女性の流出の 影響大

	000/(0/2010	- 3				•
	m m	2015年→	2020年→	2025年→	2030年→	2035年→
	男	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
	0~4歳→5~9歳	- 2.6%	₽ .7%	-2 .7%	-2 .8%	- ₽.9%
	5~9歳→10~14歳	0 .9%	.0%	0 .9%	0 .9%	0 .8%
	10~14歳→15~19歳	-1 0.0%	<u>-1</u> 0.1%	-10 .1%		<mark>-10</mark> .3%
	15~19歳→20~24歳	-2 0.6%	-2 0.8%			
	20~24歳→25~29歳	12.6%				10.8%
	25~29歳→30~34歳	-6.2 %	-6.6 %	-6 .9%	-7 .3%	-7 .5%
ı	30~34歳→35~39歳	-6.7%	7.0%	7.3%	7.6%	7.9%
	35~39歳→40~44歳	- ₿.6%	3 .7%	-4.0%	-4 .3%	-4 .7%
	40~44歳→45~49歳	0.5%	1.2%	1.2%	0.9%	0.5%
	45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳	1.8%	2.1%	2.6%	2.5%	2.2%
	50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳	-1.2% -2.0%	- 1 .3% - 2 .0%	-1.2%	-1.0%	-1.1%
	55~59歳→60~64歳 60~64歳→65~69歳	0.0%	0.0%	- 2 .0% 0.1%	- 1 .9% 0.1%	- <mark>1</mark> .8% 0.1%
J	65~69歳→70~74歳	2 .1%	1.9%	1.8%	2.0%	ψ.1% 2 .1%
	70~74歳→75~79歳	1.4%	1.6%	2.0%	1.8%	1.6%
	75~79歳 →75~79歳	1.8%	1.8%	2.0%	2.1%	2.0%
	80~84歳→85~89歳	2.0%	2.5%	2.2%	2.6%	2.9%
	85歳以 F→90歳以 F	- 8 6%	-3 5%	-8 4%	-3 7%	-3 6%
	85歳以上→90歳以上	-3.6%	-3 .5%	-3.4 %	-3 .7%	-3 .6%
	女	2015年→	2020年→	2025年→	2030年→	2035年→
	女	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年
	女 0~4歳→5~9歳	2015年→ 2020年 1.4%	2020年→ 2025年 1.4%	2025年→ 2030年 1.3%	2030年→ 2035年 1.2%	2035年→ 2040年 1.0%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8%	2020年→ 2025年 1.4% -D.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8%	2030年→ 2035年 1.2% - 0 .8%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8%	2020年→ 2025年 1.4% -D.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8%	2030年→ 2035年 1.2% - 0 .8%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -18.6%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -2.6%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0% -2.7%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -0.7%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -2.6% -0.8%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6% -0.7%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0% -2.7% -0.7%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -5.4% -2.9% -0.8%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳	2015年→ 2020年 1.4% -b.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -0.7% -2.3%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -0.8% -2.3%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6% -0.7% -2.4%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0% -2.7% -0.7% -2.3%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9% -0.8% -2.4%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳	2015年→ 2020年 1.4% -D.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -D.7% -2.3% -D.8%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -0.8% -2.3% -0.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -0.7% -2.4% -0.7%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0% -7.2% -7.2% -6.0% -7.2%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9% -0.8% -2.4% -0.7%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳 60~64歳→65~69歳	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -0.8% -0.8% -0.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -0.7% -2.4% -0.7% 0.8%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0% -2.7% -0.7% -2.3% -0.8% 0.7%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -5.4% -2.9% -0.8% -0.7% 0.7%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳 60~64歳→65~69歳 65~69歳→70~74歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -0.7% -2.3% -0.8% 0.9% 1.8%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% -0.9% -1.2% -5.6% -2.6% -0.8% -2.3% -0.7% -0.7% -2.2%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6% -0.7% -2.4% -0.7% 0.8% 2.0%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -6.0% -2.2% -6.0% -2.3% -0.7% -0.8% 0.7% 1.8%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9% -0.8% -2.4% -0.7% 0.7% 1.6%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳 60~64歳→65~69歳 65~69歳→70~74歳 70~74歳→75~79歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -0.7% -2.3% -0.8% 0.9% 1.8% -0.8%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -2.6% -0.8% -2.3% -0.7% 0.7% 2.2% -0.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6% -0.7% -2.4% -0.7% 0.8% 2.0% -0.6%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% -0.2% -2.2% -6.0% -2.7% -0.7% -0.8% -0.7% 1.8% -0.7%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9% -0.8% -2.4% -0.7% 0.7% 1.6% -0.7%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳 60~64歳→65~69歳 65~69歳→70~74歳 70~74歳→75~79歳 75~79歳→80~84歳	2015年→ 2020年 1.4% -b.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -b.7% -2.3% -0.8% 0.9% 1.8% -0.8% 1.4%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -0.8% -2.3% -0.7% 0.7% 0.7% 1.5%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6% -0.7% -2.4% -0.7% -0.8% 2.0% -0.6% 1.7%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% 0.2% -2.2% -6.0% -2.7% -0.7% -2.3% -0.7% 1.8% -0.7% 1.8%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9% -0.8% -2.4% -0.7% 0.7% 1.6% -0.7% 1.6%
	女 0~4歳→5~9歳 5~9歳→10~14歳 10~14歳→15~19歳 15~19歳→20~24歳 20~24歳→25~29歳 25~29歳→30~34歳 30~34歳→35~39歳 35~39歳→40~44歳 40~44歳→45~49歳 45~49歳→50~54歳 50~54歳→55~59歳 55~59歳→60~64歳 60~64歳→65~69歳 65~69歳→70~74歳 70~74歳→75~79歳	2015年→ 2020年 1.4% -0.8% -6.9% -13.6% -2.1% 1.5% -1.0% -5.6% -2.8% -0.7% -2.3% -0.8% 0.9% 1.8% -0.8%	2020年→ 2025年 1.4% -0.7% -7.1% -13.7% -3.3% 0.9% -1.2% -5.6% -2.6% -0.8% -2.3% -0.7% 0.7% 2.2% -0.7%	2025年→ 2030年 1.3% -0.8% -7.1% -14.3% -3.1% -0.1% -1.6% -5.8% -2.6% -0.7% -2.4% -0.7% 0.8% 2.0% -0.6%	2030年→ 2035年 1.2% -0.8% -7.2% -14.3% -3.7% -0.2% -2.2% -6.0% -2.7% -0.7% -0.8% -0.7% 1.8% -0.7%	2035年→ 2040年 1.0% -0.9% -7.4% -14.6% -3.5% -0.1% -2.1% -6.4% -2.9% -0.8% -2.4% -0.7% 0.7% 1.6% -0.7%

(社人研)

人口推計2035人口(2013推計~2018推計の変化)富良野市

•女性子供比推計値(出生率推計値)(2013、2018推計値)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
2013年時社人研推計	0.18762	0.17484	0.17422	0.17875	0.18312	0.18380	
2018年時社人研推計		0.19251	0.19195	0.19824	0.20228	0.20271	0.20155

2013年推計より2018推計の方が、出生率は高くなった

- 出生数推計値(2013、2018推計値)

男女計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
2013年時社人研予測	0~4歳	826	705	625	577	540	499
2018年時社人研予測	815	720	606	540	480	419	
差の割合2013年時予測に落	対する割合	-1.3%	2.1%	-3.0%	-6.4%	-11.1%	-16.0%

2013年推計より2018推計の方が、出生数は小さく

出生率が上がったが、子育て世代女性の転出が多かったため

-50-

3. 住民基本台帳による詳細な人の動き

(H26年度~H30年度5年間データの分析)

住基データは施策立案の強力な武器

富良野市の転出入実態[H26~30住基台帳]

• 転入状況: 札幌圈>旭川圈>道外>国外>上富良野町>中富良野町>南富良野町



上富良野町

中富良野町

南富良野町

占冠村

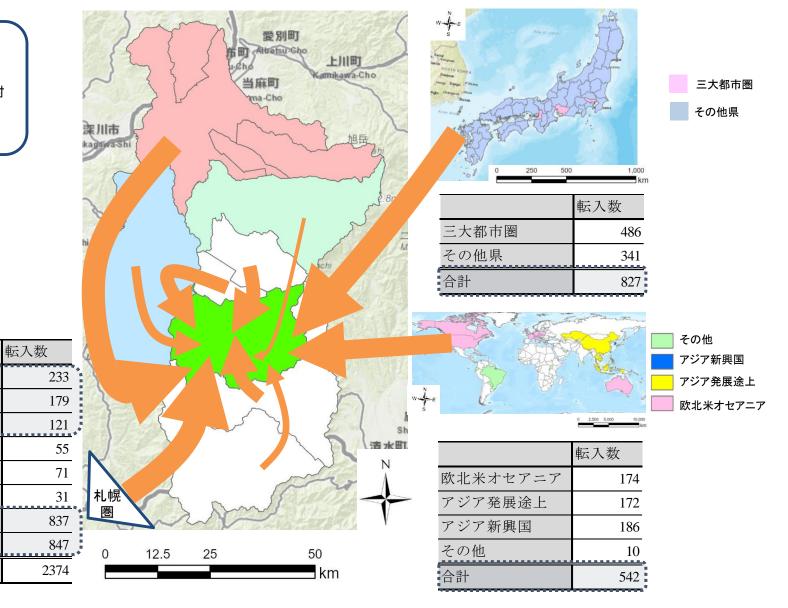
芦別市

美瑛町

旭川圏

札幌圈

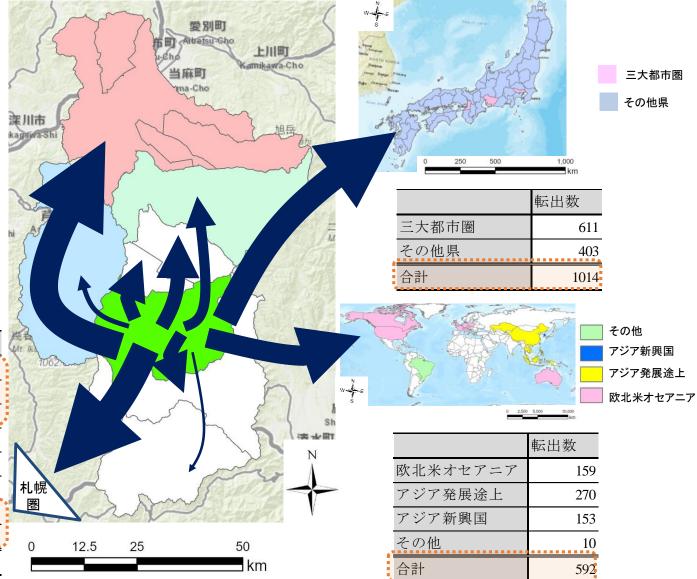
合計



富良野市の転出入実態[H26~30住基台帳]

• 転出状況: 旭川圏>札幌圏>道外>国外>上富良野町>中富良野町>南富良野町



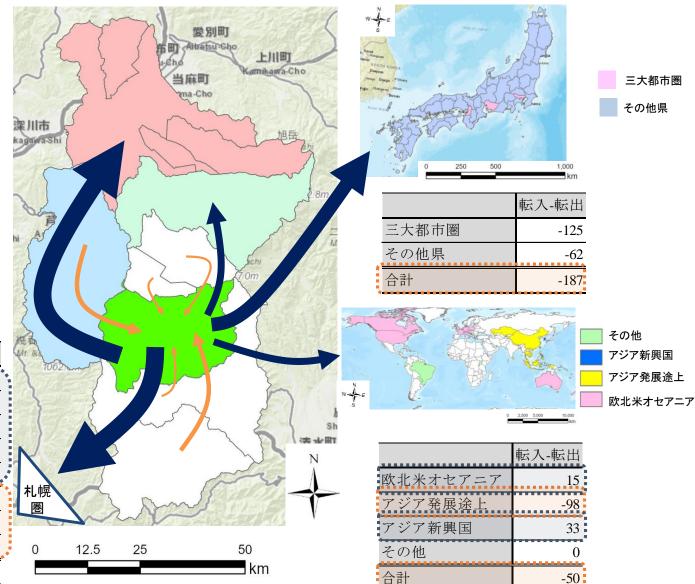


	転出数
上富良野町	223
中富良野町	164
南富良野町	117
占冠村	21
芦別市	38
美瑛町	82
旭川圏	1269
札幌圏	1255
合計	3169

富良野市の転出入実態[H26~30住基台帳]

• 転入一転出: 周辺市町村が転入超過+旭川・札幌圏、道外が転出超過





	転入-転出
上富良野町	10
中富良野町	15
南富良野町	4
占冠村	34
芦別市	33
美瑛町	-51
旭川圏	-432
札幌圏	-408
合計	-795

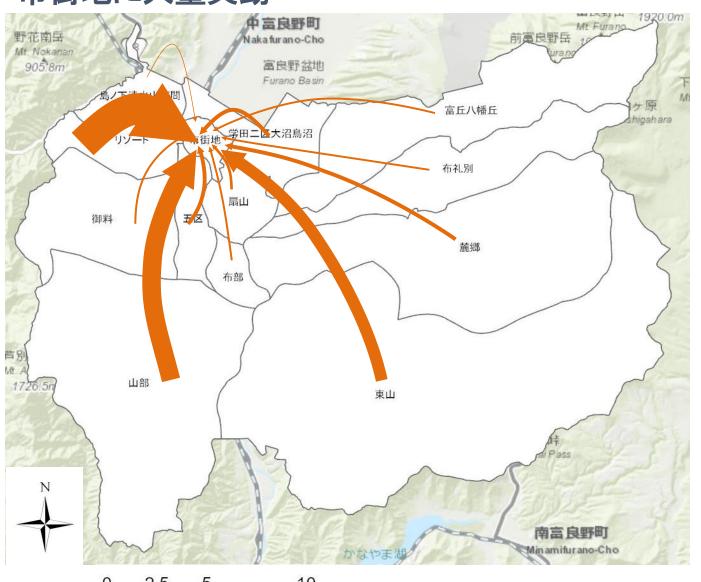
・地区毎の転出入、地区内・市内異動:地区内、市内の異動も多い

転入		地区内	市内	近隣市町村	札幌圏	旭川圏	中都市	その他市	その他町村	道外	国外	計
	リゾート	175	209	80	93	47	34	57	52	170	265	1182
	学田二区大沼鳥沼	4	34	18	17	29	9	10	11	9	1	142
	五区	4	23	2	3	7	1	11	3	9	3	66
	御料	11	40	6	2	2	0	2	2	8	0	73
	山部	130	167	26	40	45	18	13	22	73	92	626
	市街地	2542	664	424	648	624	373	439	372	463	91	6640
現住所	扇山	4	73	4	10	20	3	2	3	4	33	156
	島ノ下清水山富問	1	10	1	4	2	0	1	0	6	30	55
	東山	51	31	13	15	17	7	8	10	44	25	221
	富丘八幡丘	0	9	0	1	11	8	0	1	1	0	31
	布部	3	10	5	3	7	3	0	8	5	0	44
	布礼別	4	7	1	2	5	2	3	6	7	2	39
	麓郷	18	12	8	9	21	1	7	14	28	1	119
	計	2947	1289	588	847	837	459	553	504	827	543	9394
_												
転出		地区内	市内	近隣市町村	札幌圏	旭川圏	中都市	その他市	その他町村	道外	国外	計
転出	リゾート	地区内	市内 274	近隣市町村	札幌圏 110	旭川圏 91	中都市 35	その他市 34	その他町村 56	道外 195	国外 212	計 1243
転出	リゾート学田二区大沼鳥沼											
転出		175	274	61	110	91	35	34	56	195	212	1243
転出	学田二区大沼鳥沼	175 4	274 44	61 15	110 24	91 43	35	34 16	56 12	195 29	212 13	1243 208
転出	学田二区大沼鳥沼 五区	175 4 4	274 44 33	61 15 10 3	110 24 8	91 43 10	35	34 16 0	56 12 4	195 29 11	212 13 0	1243 208 81
転出	学田二区大沼鳥沼 五区 御料	175 4 4 11	274 44 33 20	61 15 10 3 42	110 24 8 5	91 43 10 5	35 8 1 1	34 16 0 3	56 12 4 3	195 29 11 2	212 13 0 0	1243 208 81 53
転出前住地	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部	175 4 4 11 130	274 44 33 20 190	61 15 10 3 42	110 24 8 5 58	91 43 10 5 73	35 8 1 1 24	34 16 0 3 9	56 12 4 3	195 29 11 2 75	212 13 0 0 94	1243 208 81 53 727
	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部 市街地	175 4 4 11 130 2542	274 44 33 20 190 426	61 15 10 3 42 356	110 24 8 5 58 975	91 43 10 5 73	35 8 1 1 24 504	34 16 0 3 9	56 12 4 3 32 379	195 29 11 2 75 591	212 13 0 0 94 138	1243 208 81 53 727
	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部 市街地 扇山	175 4 4 11 130 2542	274 44 33 20 190 426 36	61 15 10 3 42 356 4	110 24 8 5 58 975	91 43 10 5 73 977	35 8 1 1 24 504 2	34 16 0 3 9 393 2	56 12 4 3 32 379 379	195 29 11 2 75 591	212 13 0 0 94 138	1243 208 81 53 727 7281 163
	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部 市街地 扇山 島ノ下清水山富問	175 4 4 11 130 2542 4	274 44 33 20 190 426 36 6	61 15 10 3 42 356 4	110 24 8 5 58 975 8	91 43 10 5 73 977 5	35 8 1 1 24 504 2	34 16 0 3 9 393 2 0	56 12 4 3 32 379 379	195 29 11 2 75 591 11	212 13 0 0 94 138 88	1243 208 81 53 727 7281 163 32
	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部 市街地 扇山 島ノ下清水山富問 東山	175 4 4 11 130 2542 4 1	274 44 33 20 190 426 36 6	61 15 10 3 42 356 4 0	110 24 8 5 58 975 8 4 27	91 43 10 5 73 977 5 2	35 8 1 1 24 504 2 0	34 16 0 3 9 393 2 0 4	56 12 4 3 32 379 3 1 12	195 29 11 2 75 591 11 6	212 13 0 0 94 138 88 12	1243 208 81 53 727 7281 163 32 354
	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部 市街地 扇山 島ノ下清水山富問 東山 富丘八幡丘	175 4 4 11 130 2542 4 1 51	274 44 33 20 190 426 36 6 140	61 15 10 3 42 356 4 0 23	110 24 8 5 58 975 8 4 27	91 43 10 5 73 977 5 2 30 3	35 8 1 1 24 504 2 0 11	34 16 0 3 9 393 2 0 4	56 12 4 3 32 379 3 1 12 0	195 29 11 2 75 591 11 6 37	212 13 0 0 94 138 88 12 19	1243 208 81 53 727 7281 163 32 354 38
	学田二区大沼鳥沼 五区 御料 山部 市街地 扇山 島ノ下清水山富問 東山 富丘八幡丘 布部	175 4 4 11 130 2542 4 1 51 0	274 44 33 20 190 426 36 6 140 19	61 15 10 3 42 356 4 0 23 0	110 24 8 5 58 975 8 4 27 3	91 43 10 5 73 977 5 2 30 3	35 8 1 1 24 504 2 0 11 1	34 16 0 3 9 393 2 0 4 0 2	56 12 4 3 32 379 3 1 12 0	195 29 11 2 75 591 11 6 37 4	212 13 0 0 94 138 88 12 19 8	1243 208 81 53 727 7281 163 32 354 38 63

-地区毎の転出入、地区内・市内異動

転入-転	出	地区内	市内	近隣市町村	札幌圏	旭川圏	中都市	その他市	その他町村	道外	国外	計
	リゾート	0	-65	19	-17	-44	-1	23	-4	-25	53	-6 <mark>1</mark>
	学田二区大沼鳥沼	0	-10	3	-7	-14	1	-6	-1	-20	-12	-6 <mark>6</mark>
	五区	0	-10	-8	-5	-3	0	11	-1	-2	3	-15
	御料	0	20	3	-3	-3	-1	-1	-1	6	0	20
	山部	0	-23	-16	-18	-28	-6	4	-10	-2	-2	-1 <mark>01</mark>
	市街地	0	238	68	-327	-353	-131	46	-7	-128	-47	-641
地区	扇山	0	37	0	2	15	1	0	0	-7	-55	-7
	島ノ下清水山富問	0	4	1	0	0	0	1	-1	0	18	23
	東山	0	-109	-10	-12	-13	-4	4	-2	7	6	-1 <mark>33</mark>
	富丘八幡丘	0	-10	0	-2	8	7	0	1	-3	-8	-7
	布部	0	-20	3	-4	1	-1	-2	7	-2	-1	-19
	布礼別	0	-11	-1	-7	0	0	1	2	0	1	-15
	麓郷	0	-41	1	-8	2	-5	4	2	-11	-5	-6 <mark>1</mark>
	計	0	0	6 <mark>3</mark>	-408	-43 2	<mark>-14</mark> 0	85	- 5	-187	- <mark>4</mark> 9	-1083

•市街地に大量異動

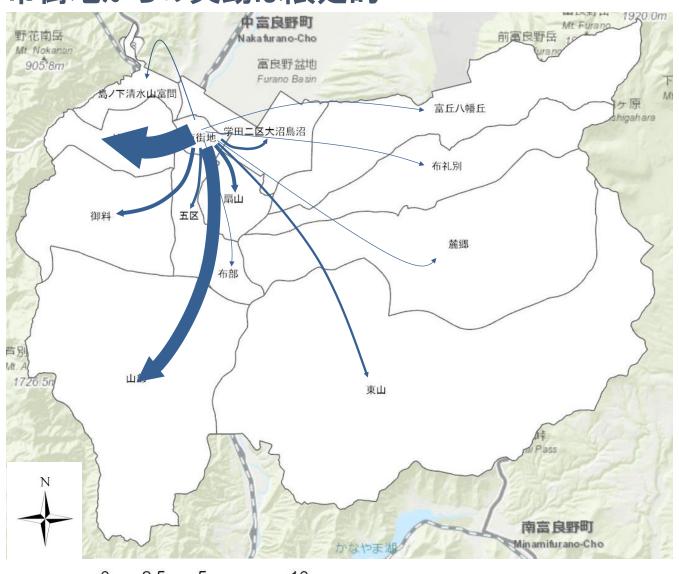


		転居者数
	リゾート	243
	学田二区	
	大沼鳥沼	30
	五区	29
	御料	17
転	山部	143
居当	市街地	2542
前の	扇山	22
住	島ノ下	
所	清水山富問	4
// 1	東山	95
	富丘八幡丘	16
	布部	15
	布礼別	17
	麓郷	33

0 2.5 5 10 km

※転居者数が10以上の場合のみ、線で図示線の太さで多寡を表示

•市街地からの異動は限定的



		転居者数
	リゾート	174
	学田二区	
	大沼鳥沼	24
	五区	22
	御料	34
	山部	102
転	市街地	2542
居	扇山	31
先	島ノ下	
	清水山富問	3
	東山	18
	富丘八幡丘	6
	布部	5
	布礼別	1
	麓郷	6

0 2.5 5 10 km

※転居者数が10以上の場合のみ、線で図示線の太さで多寡を表示

・他地域から市街地への異動一市街地から他地域への異動



		転居者数の 前後比較
	リゾート	69
	学田二区	
	大沼鳥沼	6
	五区	7
	御料	-17
	山部	41
	市街地	0
地	扇山	-9
区	島ノ下	
	清水山富問	1
	東山	77
	富丘八幡丘	10
	布部	10
	布礼別	16
	麓郷	27

0 2.5 5 10 km

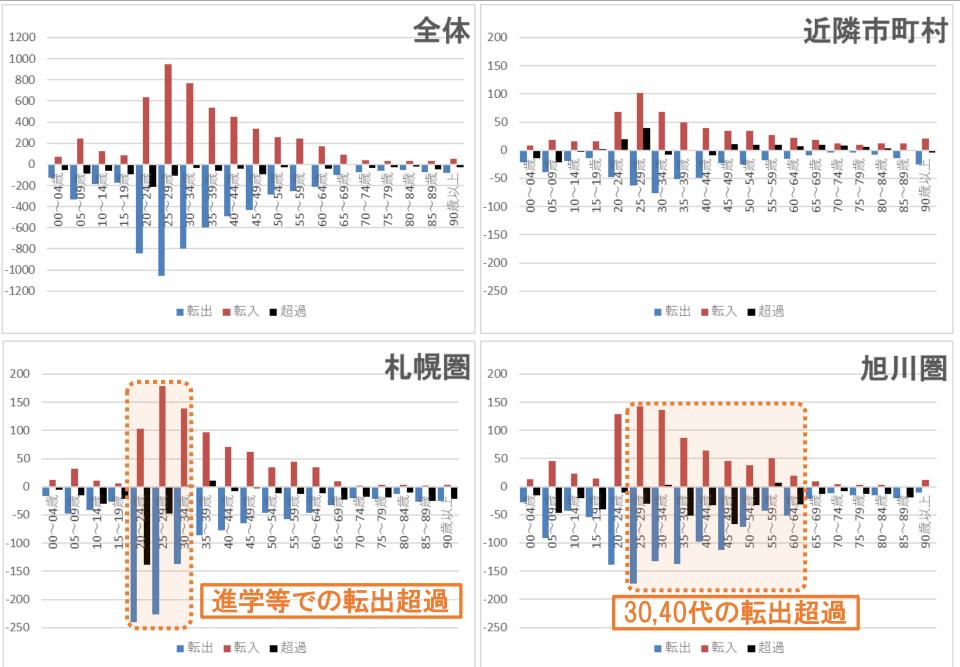
※転居者数が10以上の場合のみ、線で図示線の太さで多寡を表示

- ・他地域から市街地への異動一市街地から他地域への異動
 - >>>・周辺地区の維持:

市外との転出入に加え、市内異動にもフォーカス

			地區	⊠外からの輔	运居	地	区外への転	居	
		地区内 移動	計	市街地 から	市街地外 から	計	市街地 へ	市街地外 へ	入一出
	リゾート	175	209	174	35	274	243	31	-65
	学田二区大沼鳥沼	4	34	24	10	44	30	14	-10
	五区	4	23	22	1	33	29	4	-10
	御料	11	40	34	6	20	17	3	20
	山部	130	153	102	51	190	143	47	-37
	市街地	2542	631	0	631	426	0	426	
地区名	扇山	4	73	31	42	36	22	14	37
	島ノ下清水山富問	1	10	3	7	6	4	2	4
	東山	51	31	18	13	140	95	45	-109
	富丘八幡丘	0	6	6	0	19	16	3	-13
	布部	3	10	5	5	30	15	15	-20
	布礼別	4	6	1	5	18	17	1	-12
	麓郷	18	12	6	6	53	33	20	-41

富良野市の5歳階級別転出入実態[H26~30住基台帳]



富良野市の世帯人数別転出入実態[H26~30住基台帳]

転入		1人	2人	3人	4人以上	計
	リゾート	625	104	49	20	798
	学田二区大沼鳥沼	64	26	6	8	104
	五区	26	2	1	10	39
	御料	20	2	0	0	22
	山部	267	30	24	8	329
	市街地	2151	539	364	380	3434
現住所	扇山	75	4	0	0	79
	島ノ下清水山富問	42	2	0	0	44
	東山	95	17	6	21	139
	富丘八幡丘	22	0	0	0	22
	布部	10	8	9	4	31
	布礼別	19	6	3	0	28
	麓郷	59	16	0	14	89
計		3475	756	462	465	5158

転出		1人	2人	3人	4人以上	計
	リゾート	561	98	54	81	794
	学田二区大沼鳥沼	113	24	3	20	160
	五区	30	10	0	4	44
	御料	22	0	0	0	22
	山部	282	56	36	33	407
	市街地	2401	678	552	682	4313
前住地	扇山	113	10	0	0	123
	島ノ下清水山富問	23	2	0	0	25
	東山	123	30	6	4	163
	富丘八幡丘	17	2	0	0	19
	布部	23	2	0	5	30
	布礼別	26	6	0	0	32
	麓郷	62	22	12	13	109
計		3796	940	663	842	6241

転入一軸	云出	1人	2人	3人	4人以上	計
	リゾート	64	6	5	<mark>-6</mark> 1	4
	学田二区大沼鳥沼	<mark>-4</mark> 9	2	3	- 2	-56
	五区	4	8	1	6	-5
	御料	+2	2	0	0	0
	山部	- 5	- 2 6	- 2	- <mark>2</mark> 5	-78
	市街地	-25 0	-13 9	-18 8	-302	-879
地区	扇山	- 8	6	0	0	-44
	島ノ下清水山富問	19	0	0	0	19
	東山	- <mark>2</mark> 8	- 3	0	17	-24
	富丘八幡丘	5	2	0	0	3
	布部	- 3	6	9	 1	1
	布礼別	7	0	3	0	-4
	麓郷	3	6	- 2	1	-20
計		-321	-184	-201	-377	-1083

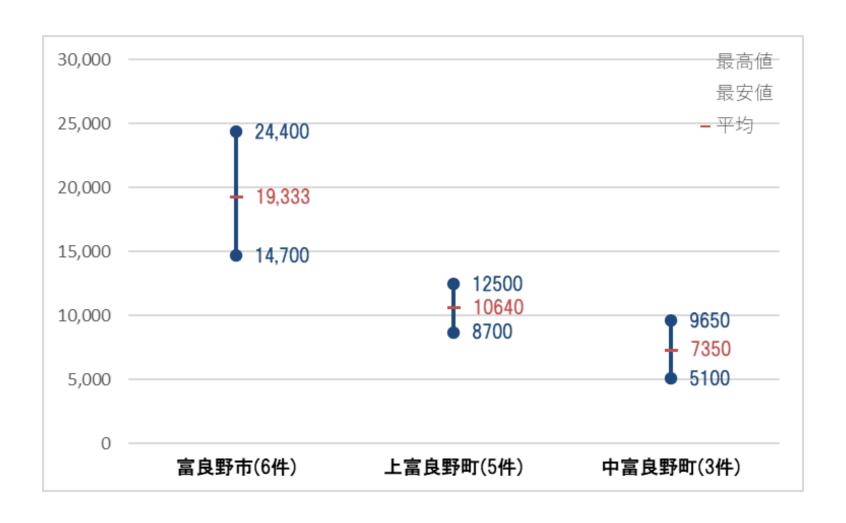
富良野市の住宅種類別転出入実態[H26~30住基台帳]

転入		アパート	戸建等	公営住宅	社宅·寮等	計	転出	前住地	アパート	戸建等	公営住宅	社宅·寮等	計
	リゾート	225	249	9	315	798		リゾート	219	296	32	247	794
	学田二区大沼鳥沼	4	53	0	47	104		学田二区大沼鳥沼	6	91	0	63	160
	五区	1	29	0	9	39		五区	0	41	0	3	44
	御料	7	12	0	3	22		御料	6	13	0	3	22
	山部	43	212	4	70	329		山部	40	304	8	55	407
	市街地	2099	872	29	434	3434		市街地	2134	<mark>16</mark> 13	109	457	4313
現住所	扇山	2	42	0	35	79	前住地	扇山	4	75	0	44	123
	島ノ下清水山富問	5	37	0	2	44		島ノ下清水山富問	2	22	0	1	25
	東山	0	111	2	26	139		東山	0	139	4	20	163
	富丘八幡丘	12	8	0	2	22		富丘八幡丘	5	12	0	2	19
	布部	0	31	0	0	31		布部	0	30	0	0	30
	布礼別	5	13	0	10	28		布礼別	3	26	0	3	32
	麓郷	12	58	1	18	89		麓郷	17	79	0	13	109
計		2415	1727	45	971	5158		計	243 6	2741	153	911	6241



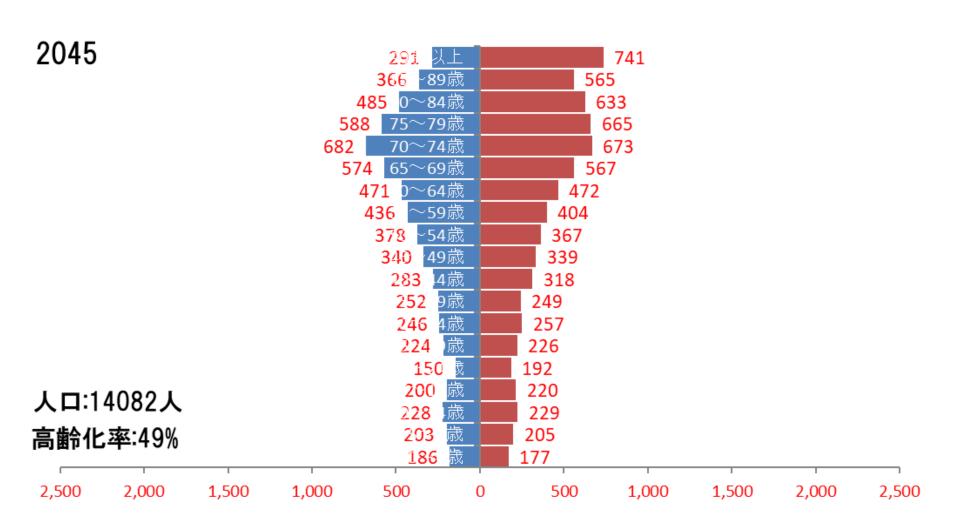
富良野市周辺の住宅地の公示地価(国交省2020年1月)

- 上富良野町では富良野市より平均値で 8,700円/㎡安い
- 中富良野町では富良野市より平均値で12,000円/㎡安い



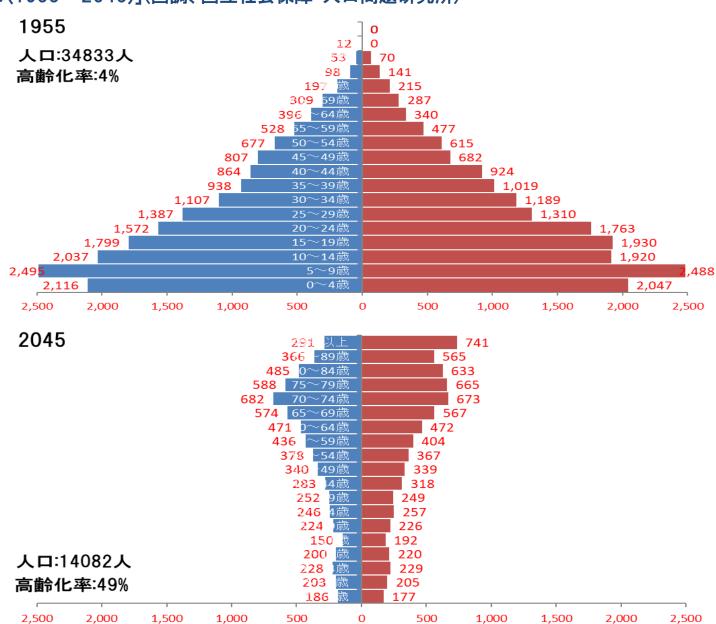
人口ピラミッド[富良野市]

富良野市(1955~2045)](国調、国立社会保障・人口問題研究所)



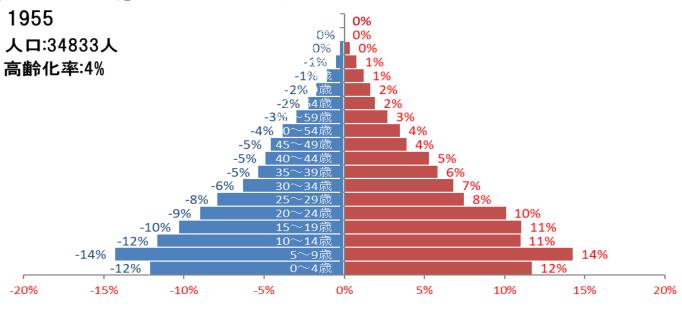
人口ピラミッド[富良野市]

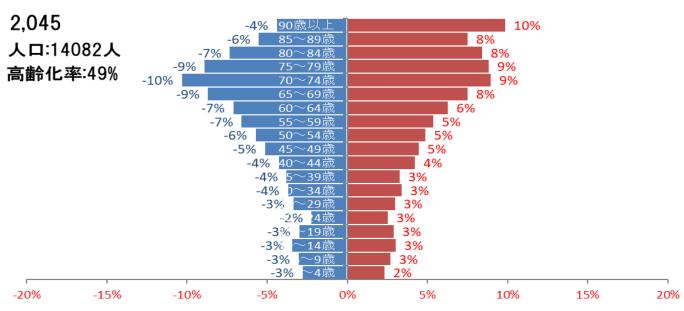
富良野市(1955~2045)](国調、国立社会保障・人口問題研究所)



人口ピラミッド[富良野市]

富良野市(1955~2045)](国調、国立社会保障・人口問題研究所)



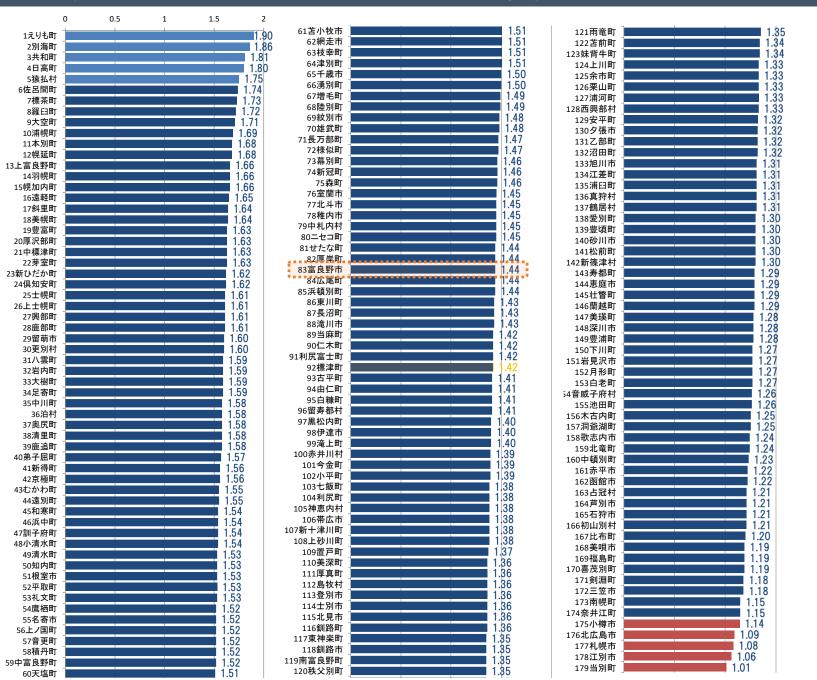




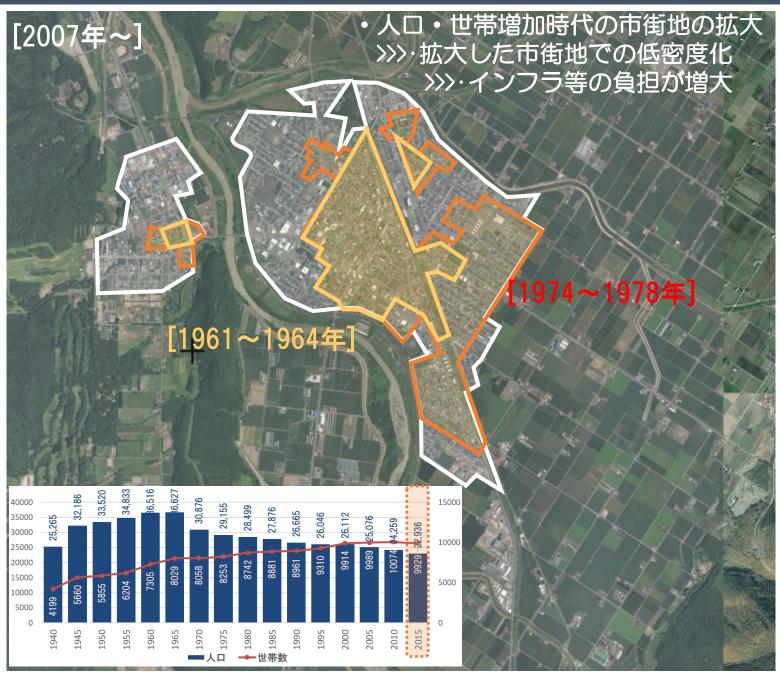


高齢者数のピーク

合計特殊出生率 H20~24年[富良野市]厚生労働統計一覧 人口動態統計特殊報告 -70-

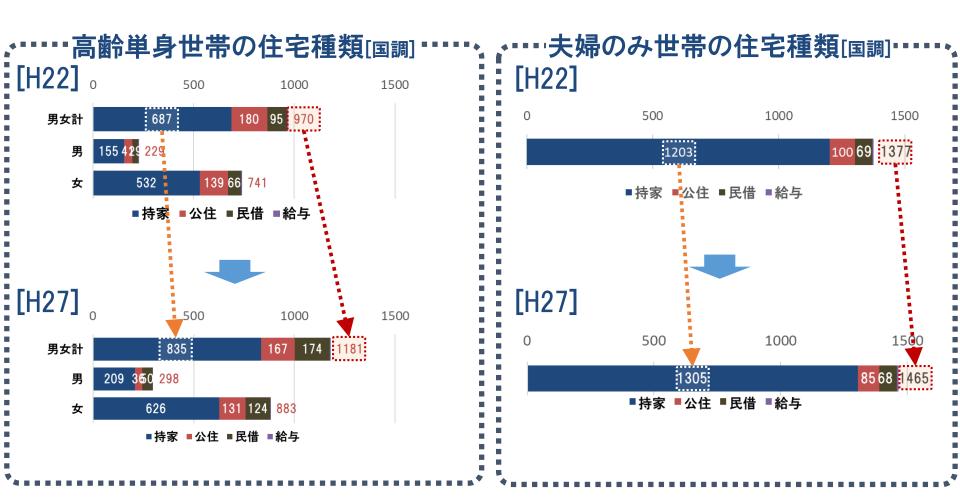


市街地の拡大状況(富良野市)

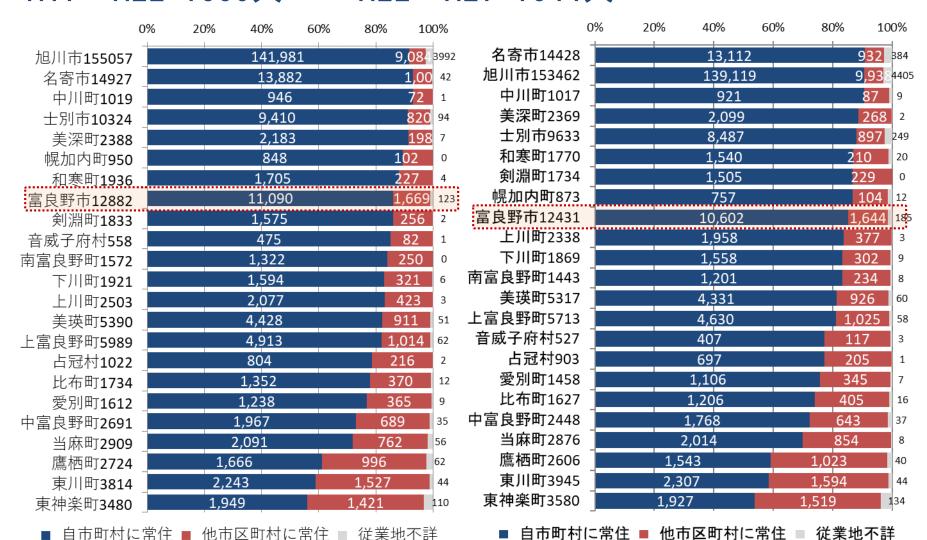


高齢単身者の戸建住宅[空き家予備軍]富良野市

- ■高齢単身世帯数 H22:970世帯→H27:1181世帯
- ■持家に住む高齢単身者 H22:687世帯→H27:835世帯
 - >>>・空き家の活用(中古住宅流通)促進



■富良野市で働く人のうち、市外からの通勤者 H17~H22:1669人 → H22~H27:1644人

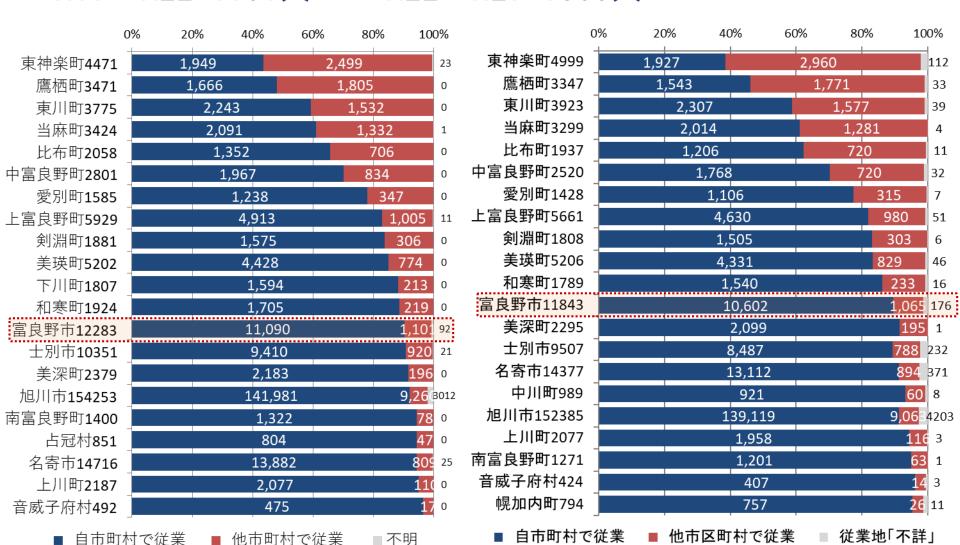


富良野市内事業者の従業者の常住場所

[H17~22(国調H27)]

[H22~27(国調H27)]

■富良野市に住み、市外への通勤者 H17~H22:1101人 → H22~H27:1065人

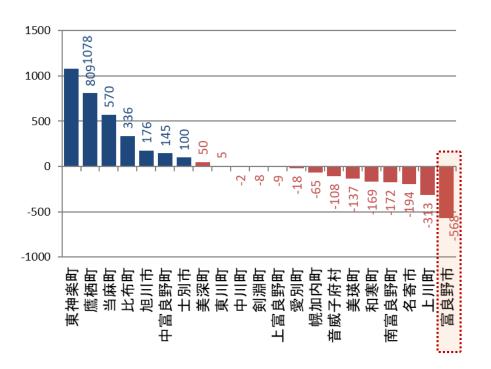


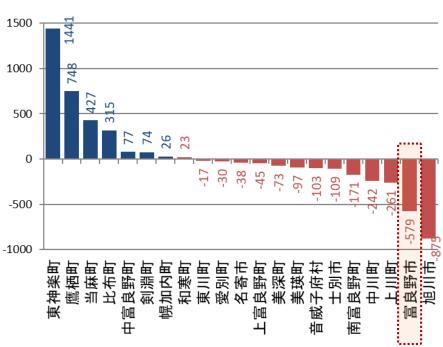
富良野市内常住者の従業場所

[H17~22(国調H27)]

[H22~27(国調H27)]

■市外からの通勤者一市外への通勤者 H17~H22:-568人 → H22~H27:-579人





富良野市内常住者の従業場所

[H17~22(国調H22)]

[H22~27(国調H27)]

就業者の通勤状況 (2015国勢調査)

他市町から通勤

1644人

他市町へ通勤

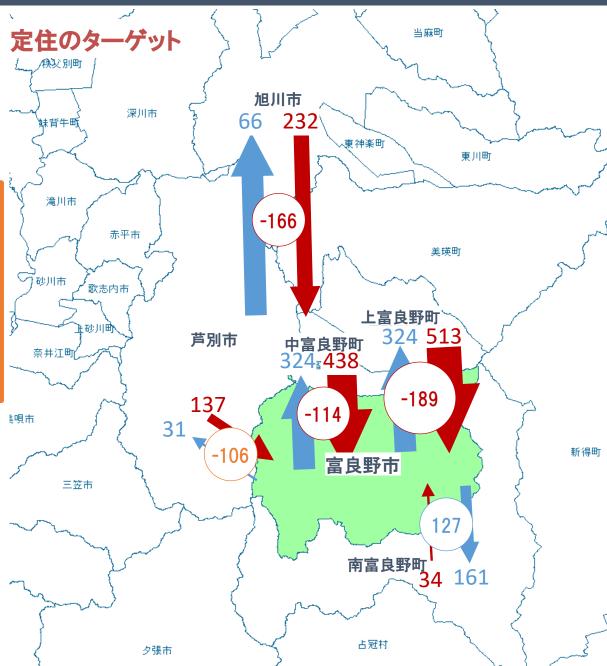
1065人

(富良野市内事業者等の従業者 12431人)

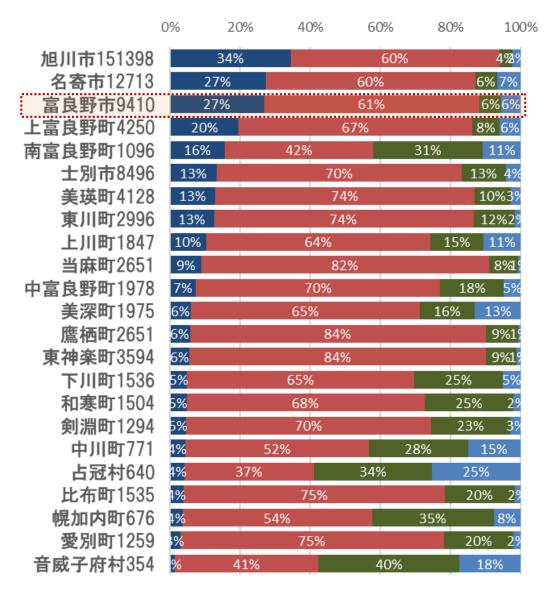
-579

富良野市からの通勤者		
従業地	人数	
上富良野町	324	
中富良野町	324	
南富良野町	161	
旭川市	66	
占冠村	34	
芦別市	31	
美瑛町	31	
札幌市	16	
滝川市	8	
帯広市	7	

富良野市への通勤者		
居住地	人数	
上富良野町	513	
中富良野町	438	
旭川市	232	
芦別市	137	
札幌市	45	
美瑛町	36	
南富良野町	34	
赤平市	32	
滝川市	21	
東神楽町	16	



住宅種類別世帯数(上川管内)



■民営借家 ■持家 ■公営 ■給与住宅

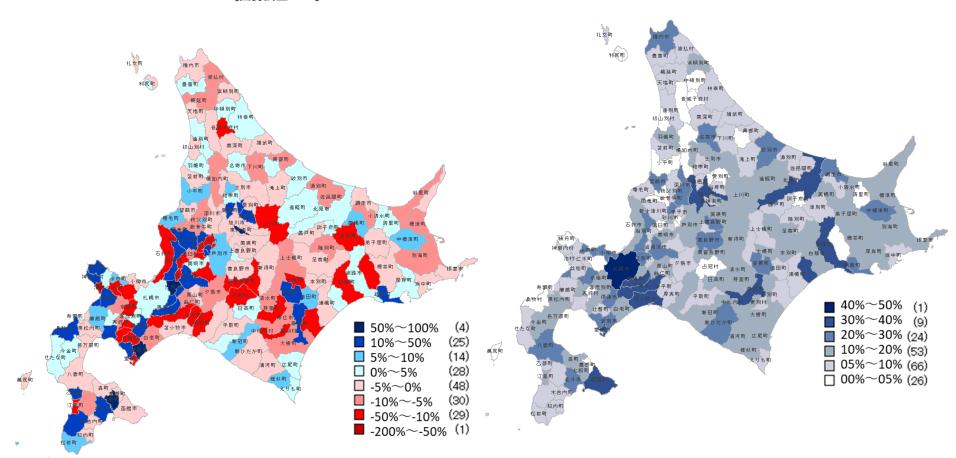
(国調H27)

通勤状況と民間借家世帯数

([自町居住者で他町への通勤者]-[他町居住者で自町への通勤者]) [自町居住者の自町従業者]

民間借家の居住世帯割合

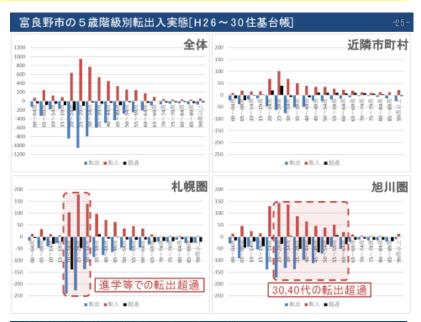
[国勢調査2015]



- │ 1. これまでの検討プロセス
- | 2.協議事項⇔方向性の確認
- 3. 今後のスケジュール確認

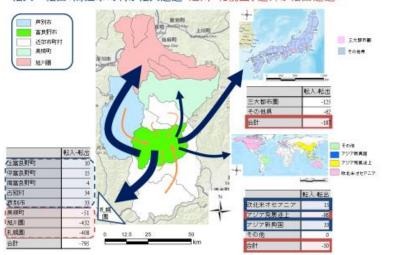


「富良野を読む」からの考察ポイント①



富良野市の転出入実態[H26~30住基台帳]

転入一転出:周辺市町村が転入超過+旭川・札幌圏、道外が転出超過



①転出超過を抑える>出生数/出生率を上げる

- ①30〜40代女性の旭川圏への転出超過の原因 を探り転出超過を抑える Q1:旭川圏への流出原因は?
- →居住調査の結果では①仕事②結婚 公務員(先生)の移動も多い 離婚して単身でていくケースも
 - ※去年6人:旭川3人(しごと)・道内2(実家)道外1/再婚は4人・同居5人
 - ※おととし4人:登別(転勤)・旭川2(しごと)・ 上富良野(実家)/再婚は9人・同居
 - ライフステージが上がったタイミング進学先や家計の厳しさ
 - →富良野の賃金が低いため、高いところに流れる傾向か
- ②20代女性の札幌への進学等による転出後に 戻ってこない原因を探り、Uターンを促進する Q2:札幌圏から戻ってこない原因は?
- →戻ってきてもやりたい仕事がない。 札幌になじんで帰ってこない 親子関係がうまくいっていない場合も 成人式でのアンケート結果では帰ってきたくない理由 ①遊ぶところがない②交通が不便③仕事がない
 - →中高で郷土愛を深める機会を増やす 遊ぶところ(居場所)・交通不便の解消の検討
- ③周辺市町村からは転入超過なので、経済的 負担軽減策等の争いはやめて、連携や役割分担 を探る
 - Q3:周辺市町村との連携で考えられることは?
 - →現状なし 仕事と家が近くなる施策などの検討

- 1. これまでの検討プロセス
- 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 3. 今後のスケジュール確認



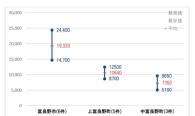
|富良野を読む| からの考察ポイント②

・他地域から市街地への異動ー市街地から他地域への異動

富良野市内の地区別異動実態[H26~30住基台帳]







①転出超過を抑える>出生数/出生率を上げる

- ①郊外→市街地への異動を抑える
 - ・世帯分離の原因を探り、世帯分離を抑制 する動きに変える
- Q4:世帯分離の原因は?またその抑制対策は?
- →農家さんで親は郊外、子ども世帯が市街地にアパートを借りる などの話は聞く

力のある農家は同じ敷地内に家を建てたりする 旦那は農家、嫁は農家以外のパート世帯も増えている 農家で市街地に家を建てて農地に通うパターンも 高齢者が市街地の施設に入るために病院の近くに引っ越しや 施設に入るパターンも

- →若い世代をターゲットにした施策
- ②民間のアパートが足りていないのではないか? そのため、需要と共有バランスで家賃が 総じて高めのため、子育て世代などが 土地の安い中富良野・上富良野等で 異動しているのではないか?
- Q5:実際にアパート不足か?だとしたらその対策は?
- →アパート不足の認識はない

建てても埋まっていることから足りないいないのではなく 古くなったアパートから出ている 家賃が高いが会社から補助も出ている

→郊外から市街地のアパートに引っ越しを誘導する施策を実施

- 1 1. これまでの検討プロセス
 - 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 3. 今後のスケジュール確認

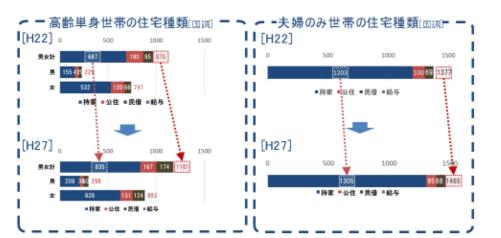


「富良野を読む」からの考察ポイント③



高齢単身者の戸建住宅[空き家予備軍]富良野市

- ■高齢単身世帯数 H22:970世帯→H27:1181世帯
- ■持家に住む高齢単身者 H22:687世帯→H27:835世帯
- >>>・空き家の活用(中古住宅流通)促進



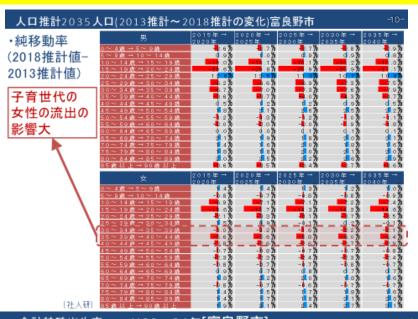
①転出超過を抑える>出生数/出生率を上げる

- ①世帯分離が進み、市街地に移り住む人が 増えて市街地が拡大 郊外の転出が増え、空き家が増える一方で市街地の空き家も 旭川・札幌に転出するため、空き家が増えてるのでは →郊外の空き家の活用>市街地の空き家活用流動/循環を活発に Q6:空き家の現状は?その対策は?
- **→空き家は増え続けている** 対策は空き家バンクのみ

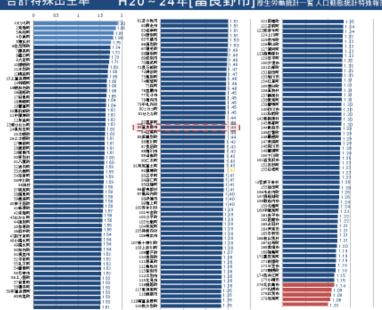
- 1. これまでの検討プロセス
 - 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 3. 今後のスケジュール確認



「富良野を読む」からの考察ポイント4)



合計特殊出生率 H20~24年[富良野市]原生労働統計一覧 人口動應統計特殊報告



①転出超過を抑える>出生数/出生率を上げる

- ①高齢者の異動が少ない
- →このまちで一生を終えてもいいと思う人が多い (福祉施策は納得感がある)
 - Q7:どんな施策が効いているのか?
- →特別な施策を打っている感じはしない それなりの施設はあって、整備されているのは事実 施設に入るために知らない土地にいく不安はある 色んなグループ施設もあるので、最後まで富良野に残れる 施設整備されてりのは事実 元気な高齢者が多いわけではないが、介護認定率は 低い方で高額なサービスを使わないでいい人が多い また、在宅介護に商品券を渡すや大人のおむつ券や タクシー補助もしているが特別感はない →住み続けられる町としての魅力発信がキーポイントに なってくる
- ②20代の男性は戻ってきている→農家跡継ぎや働きたい人はい
- ③20代の女性は戻ってきていない④30~40代の女性がでていく
- →サービス産業の賃金が低い 非正規雇用が多いことも原因か Q9:なぜか?原因は?
- →晩婚化が進み平均年齢は上がった 結婚率/離婚率も見ていく必要がある
- ※特殊出生率が高い地域の特徴は
 - ・1次産業が儲かっているところ
 - ・跡継ぎ問題がうまくいっているところ
 - ・3世代同居率が高いこと
 - ・漁村地域が多い

☑ 1. これまでの検討プロセス

☑ 2.協議事項⇔方向性の確認

3 今後のスケジュール確認



「富良野を読む」からの考察ポイント⑤

②社会増(短期視点)>自然増(長期的視点)

- ①長期的な視点で、出生数/出生率を上げるには福祉施策×子育て施策×住宅施策の一体的な体系化(横ぐし)で考える (住み替え/引っ越し/郊外地域の戸建て・賃貸・公営住宅etc)
- ②長期的に富良野の底力(ブランド力)をつける施策を検討する
- ・観光×移住×福祉×子育て×生涯学習×住宅を横ぐしで考える
- →共通するのは誰でも来てくださいではなく、魅力的な人・富良野のビジョン実現に必要な人財を集めること ※お金で流出を食い止めるのではなく文化や価値で根付かせる/感度の高い人を呼び込む

Q10:各課(各産業)にどんな人財が必要なのか? Q11:どんなまちにしたいか? の未来ビジョン(総合計画/戦略)とつながる

→こども未来課では保育士や療育の専門スタッフの確保 医療は看護・医療の人財確保 看護学生が富良野に残れる仕組みが大事 育成資金返済免除の仕組みの利用者はゼロのため、分析と新たな展開が必要

→全体的に

今後、各課にあがってくる課題に対し、局地的に対処療法で対応していても 原因や因果関係は様々に張り巡らされ問題が複雑化してきている 複合的に部局横断して問題の因果関係を探り対処していく連携がとれればと思っている 次回に向けて具体的数字データが必要のため協力を

1 1. これまでの検討プロセス

』 2. 協議事項⇔方向性の確認

3 今後のスケジュール確認



「富良野を読む」からの考察ポイント⑤

②社会增(短期視点)>自然增(長期的視点)

①雇用環境の改善

- ・特に20~30代の女性が出ていく、戻ってこない
- ・働きたい仕事がない
- ・農村部の価値観
- ・遊ぶ場所が少ない
- ・居場所が少ない

②郷土愛を育む

・小学生だけでなく、中学・高校の郷土愛を深める

③世帯分離を減らす

- ・3世代同居の促進
- ・地域コミュニティのあり方
- ・住宅政策との連動を全員で考える

4空き家対策を若者向けに徹底的に考える

⑤「住み続けたい安心できるまち」としての情報発信のあり方

6各産業群でどんな人財がほしいのか

・移住施策にどう盛り込めばいいのか

旭川市

3

札幌市

東京

(2)

富良野

市街地

山部

麓郷

東山

- 1. これまでの検討プロセス
- 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 今後のスケジュール確認



現状

社会増

自然增

見える化

①郊外農村地域→市街地

- 高校通学
- ・買い物
- 病院通院

②市街地→旭川市

- 高校通学
- ・買い物
- ・病院通院

③市街地→札幌市

- ・大学
- ・しごと
- ・買い物

④札幌市→東京

・しごと

⑤東京→富良野

- 旅行
- ・関係人口

• 移住

ひと

- ・チャレンジができる
- ・失敗が許される寛容性
- ・多様性(ダイバーシティ)

しごと

- やりたい仕事がない
- ・しごとの選択肢が少ない
- ・賃金が低い
- ・季節格差により 収入が安定していない

まち(くらし)

- ・遊ぶ場所が少ない
- ・買い物の選択肢が少ない
- 居場所がない



①社会增 > ②自然增 短期的 > 長期的

- ①ターゲットは誰
- →どういった人財が地域に必要か
- ②ターゲットは誰
- →「住み続けたい」まちづくりに必要なことは
 - ・ひと(郷土愛を育む)
 - ・しごと(女性が活躍)
 - ・まち(くらし)世帯分離しない

3経済的負担軽減

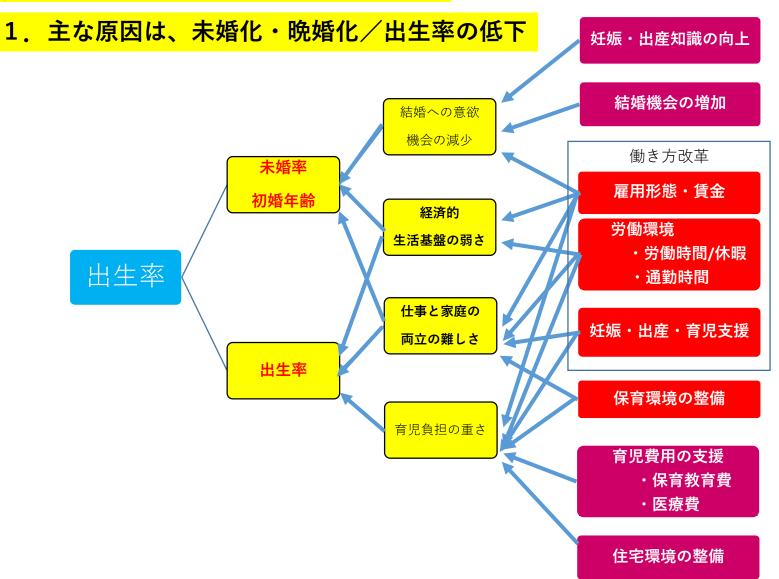
- ③インセンティブ<まちづくりへの関わり(経験)
- → 「住み続けたい」まちづくりに必要なことは

- 4見える化/魅せる化
- ④ライフステージごと (スマートシティ連携)
- →「住み続けたい」まちづくりに必要なことは ストレス(フリクション)フリー
- →将来的に、こどもたちが富良野で暮らし続ける視点 (安心感)→総合計画(総合戦略)とリンク

- ☑ 1. これまでの検討プロセス
- ☑ 2.協議事項⇔方向性の確認
- ☑ 3. 今後のスケジュール確認



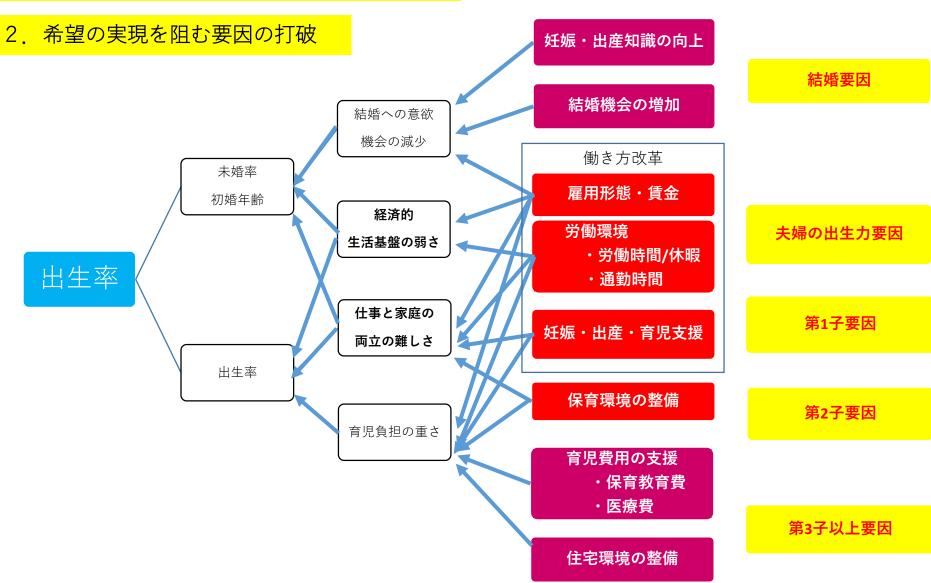
②少子化の主な原因



- ☑ 1. これまでの検討プロセス
- ☑ 2. 協議事項⇔方向性の確認
- ☑ 3. 今後のスケジュール確認



②少子化の主な原因



- ☑ 1. これまでの検討プロセス
 - 2. 協議事項⇔方向性の確認
 - 3 今後のスケジュール確認



3. 長期的かつ総合的な展望で

妊娠・出産知識の向上

結婚機会の増加

働き方改革

雇用形態・賃金

労働環境

- ・労働時間/休暇
- ・通勤時間

妊娠・出産・育児支援

保育環境の整備

育児費用の支援

- ・保育教育費
- ・医療費

住宅環境の整備

 二
 ①地域の働く力

 結婚要因
 経済・雇用

夫婦の出生力要因

第1子要因

第2子要因

第3子以上要因

②地域の賑わい力 生活環境

③乳幼児サポート力 医療・保健環境

④子育て基盤力 子育て・支援サービス

⑤夫婦の協働力 働き方・男女参画

⑥家族・地域の絆力 住生活・地域コミュニティ 地域の産業が良好で経済的な安定や不安が軽減 され、結婚や出産に前向きになれる

所得が高いと経済的な安定や不安の軽減により 結婚や出産に前向きになれる

生活利便性が高いと若者が地域に集まり、出会 いの機会が増える

まちの活気が高いと住民の交流機会が増え、出 会いの機会が増える

自然・緑地が多いと、子どもを遊ばせる環境が 整い、子育てしやすい環境となる

医療環境が良好であると出産・育児に対する安 心感が高まる

保育所へ入所しやすいと、子育てしやすいと感じられるようになる

子育て支援サービスが利用しやすいと、子育て しやすいと感じられるようになる

労働・通勤時間が短いと、育児時間を取りやす く、出世意欲が高まる

女性の社会参画が進んでいる地域では、子育て に対する夫婦の協力関係が構築されている

子どもが身近にいることで、出生意欲が高まる

家族・親族からの支援が期待できると、子育て しやすいと感じる

住宅環境が良好であると子育てしやすいと感じられる

- 1. これまでの検討プロセス
- 2. 協議事項⇔方向性の確認
- **7** 3 今後のスケジュール確認



4. 若者たちの視点

親は比較的豊かな生活 水準を保っているが

自分が将来築ける生活 は親の水準にも達しな いと考える若者たち

支援すべき

希望を叶えることで持 続的な社会が作れるな ら市/社会が後押しする 必要がある

人間にとって基本的な 欲求「親密な相手を得る、子どもを持つ」とが困難になっている 人に社会的支援をしている のは、仕事がないと同じ 就職支援するのと同じ く必要ではないか 結婚・出産は個人的なも のだから市は介入すべき ではない

個人のために市がお金 をかけるべきでない

自己責任だから支援する 必要ない

社会保障費の増大で 市財政がもたない

そうならないた めに結婚や出産 を慎重になって 未婚化・晩婚化

経済状況・階層のあり方 を大きく変える

親並の生活水準に達することを諦めてもらい、結婚・子育てをする方を優先するような施策

支援すべきでない

世間並の生

活から転落

する可能性

を避けよう

とする意識

も強い

結婚して子供を2~

3人育てても、親並

みの生活水準/子育て

水準を維持できると

いう期待を持たせる

施策

若者の意識・日本人が多 く持つ「リスク回避意 識」「世間体意識」を変 える 子どもにつらい思いをさせなくて済む生活水準 のビジョンが共有できて少し前に進む

仕事においてやり直しがきき 不利にならない職業環境 共働きしやすい社会環境 いざとなった時に社会保障で自立にむかって 再スタートが可能な社会

若者は上の世代を見ている

- ・10年前に非正規雇用になった若者
- ・不安定な中で子育てをしている中年世代
 - ・貧困化する高齢をみている

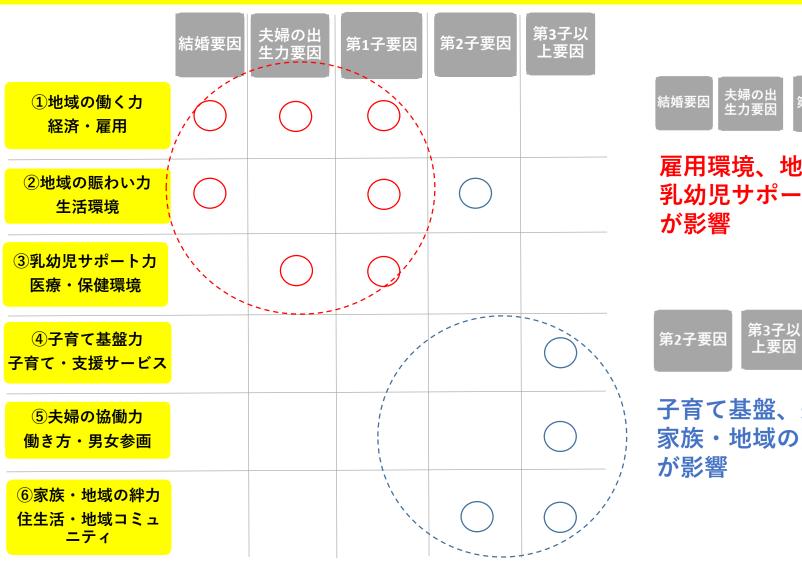
世間体など気にせず家族を形成し、自分たちなりの幸せを追求しようとする若者たちが生きや すくなるように生活支援を行うことも必要



どんな家族形態であっても、どんな仕事についても将来にわたって、人並みの生活が保障される社会

- 1. これまでの検討プロセス
 - 2. 協議事項⇔方向性の確認
- 今後のスケジュール確認





第1子要因

雇用環境、地域の魅力 乳幼児サポートの状況

子育て基盤、夫婦・ 家族・地域の関係性

☑ 1. これまでの検討プロセス

2. 協議事項⇔方向性の確認 ☑ 3. 今後のスケジュール確認



6. Withコロナ禍での子育て支援の取組の整理・検討フォーマット

ライフステージ イメージ	出会い・結婚	第1子出生	第2子出生
経済雇用			
賑わい 生活環境			
医療保健環境			
子育て支援サービス			
働き方 男女共同 参画			
地域コミュニティ			
家族住生活			

- 1. これまでの検討プロセス
- 凶 2. 励餓事項分月内住の唯祕
 - | 3 今後のスケジュール確認



2. 協議事項→方向性の確認

- 1見える化
- ②長期的・総合的な視点
- ③新庁舎の遊び場

- ☑ 1. これまでの検討プロセス
- ☑ 2.検討内容/中間報告⇔方向性の確認
- 🗹 3. 今後のスケジュール確認



③新庁舎の 「子どもの遊び場」検討



